

意見具申に対する対応報告について

【令和3年度 教育－1～6】事前評価
学校施設の建替事業(戸塚小学校、矢向小学
校、菊名小学校、吉原小学校、今宿小学校、つ
つじヶ丘小学校)
(教育委員会事務局)

事業評価に係る意見具申に対する対応報告

報告年度	令和3年度	番号	令和3年度 教育－1～6	事前評価
事業名	【教育－1～6】学校施設の建替事業（戸塚小学校、矢向小学校、菊名小学校、吉原小学校、今宿小学校、つつじが丘小学校）			
意見具申	<p>令和3年度意見具申</p> <p>関係部局と十分に協議し、地域防災拠点として、防災対策に係る設計上の配慮（スフィア基準、災害時の拠点までのアプローチ、物資の備蓄スペース、調整池、屋上緑化の保水機能等）をすること。</p>			
【報告】 意見具申に に対する対応	<p>建替検討を進めるにあたっては、関係各部署と必要な事項を調整するとともに、再編整備検討専門会議等の庁内協議の場も活用しながら、情報共有と検討を進めています。</p> <p>また、庁内協議等と並行して、基本構想策定に向けて、地域関係者の意見等も聴取していますが、地域防災拠点の機能上の課題や調整事項に係る意見等を頂くことも多く、検討の参考としています。</p> <p>以上のとおり、学校建替えの検討に当たっては、関係局や地域との調整機会を設けながら進めていますが、今回の意見具申を踏まえて、具申内容（スフィア基準、災害時の拠点までのアプローチ、物資の備蓄スペース、調整池、屋上緑化の保水機能等）を関係部署と共有し、設計段階に合わせ、各所管部署の見解を踏まえた検討を順次進めてまいります。</p> <p>また、文科省が公表した「避難所となる学校施設の防災機能に関する事例集」も参考にしながら、防災上の配慮ができるよう基本設計を進めていきます。</p> <p>【スフィア基準、拠点までのアプローチについて】</p> <p>横浜市では災害種別ごとに緊急避難場所を定めており、河川洪水等による浸水が想定されている避難場所は、河川増水時の避難場所として開設せず、他の避難場所に避難するようハザードマップ等に記載しています。（例えば、戸塚小周辺では、河川増水時は戸塚小を避難場所として開設しないため、戸塚中や南戸塚小への避難となり、住民には2か所以上の避難場所への避難路をハザードマップの被害状況等を踏まえて予め確認するようお願いしています。）</p> <p>また、菊名小など敷地内に土砂災害特別警戒区域の指定がある学校については、地域防災拠点までのアプローチの安全確保も念頭に、がけ対策を別途、検討していきます。</p> <p>また、避難所での避難者個々の面積確保等、スフィア基準の充足に</p>			

	<p>向けては、各避難所にどの程度の人が避難するかによって対応が異なり、体育館だけで不十分であれば、多目的室等、他の教室の開放を行うこともあります。基本的にはその避難所の施設状況に鑑み、開設・運営担当者及び学校長の判断によることとなります。</p> <p>建替校では、地域開放スペース（体育館や多目的室、PTA 会議室、キッズクラブ室等）をできるだけまとめて整備するようにプランを工夫して、柔軟な運用ができるようにしています。また、災害時のトイレに関しては、災害時下水道直結式仮設トイレ（災害用ハマッコトイレ）の配置について、建替えの基本設計を進めていく中で関係局や地域関係者の意見等を踏まえ、検討していきます。</p> <p>バリアフリー化については、福祉のまちづくり条例等に基づき整備を行います。</p> <p>【物資の備蓄スペースについて】</p> <p>防災を担当する総務局、区役所と協議して必要なスペースを確保していきます。</p> <p>【調整池について】</p> <p>調整池の機能としては、建築物等、人工物を設置することにより、雨水が地中にしみ込まず直接下水管を通して河川に排出されることにより、河川水位の急激な上昇を招いたり、内水氾濫を起こすことを抑制するため、一時的に雨水を貯留する機能を持たせることにあります。調整池の他にも、雨水を地下に浸透させる雨水貯留浸透施設があり、校庭等の地下に設置しているケースはあります。</p> <p>学校施設では、敷地の半分程度がグラウンド等であり、他の建築物に比べれば、環境への影響は少ない構築物と考えておりますが、建築等の手続きの中で、調整池の設置について検討し、雨水貯留施設の設置については、河川部局からの要請に応じて別予算で整備することとなります。河川部局との情報共有、照会を行っていきます。</p> <p>【屋上緑化について】</p> <p>公共施設の建替えにおいては、一定割合の緑化を義務づけられており、地上部分で緑化率が満たせない場合（矢向小学校など）は屋上緑化を行うことを検討しております。屋上緑化による雨水貯留については、屋上の荷重制限との兼ね合いや費用対効果等について技術的な検討を行っていきます。</p>
事業担当局課	教育委員会事務局教育施設課

※添付資料：確定した評価調書

(様式2)

公共事業事前評価調書

事業概要	事業名	【教育－1】学校施設の建替事業（戸塚小学校）	
	場所 (所在地)	戸塚区戸塚町132番地	
	事業目的	戸塚小学校は一部の校舎が古く、老朽化しています。また、児童数急増に伴い教室不足が発生するため、学校施設の建替えを実施します。	
	事業内容	戸塚小学校の老朽化対策として、現敷地内に新校舎棟を整備します。	
		【現在の施設状況】(令和2年4月時点)	
		建設年度	昭和34年(1959年)
		最古の棟の築年数	61.0年
		屋内運動場築年数	46年
		平均築年数	38.4年(H27に増築したD棟を除くと46.1年)
		種別	
普通教室		27教室	
個別支援教室		8教室	
多目的室		4教室	
音楽室や理科室等の特別教室	7教室		
その他職員室等の管理諸室・体育施設等			
面積(整備水準)の小計	約6,600㎡		
総面積(廊下等の共用部込み)	約10,000㎡		
【新規整備内容(予定)】敷地面積:約14,766㎡			
種別		数量	
普通教室	35教室		
個別支援教室	10教室		
特別支援教室	1教室		
多目的室	4教室		
音楽室や理科室等の特別教室	6教室		
その他職員室等の管理諸室、体育施設等			
面積(整備水準)の小計	約8,400㎡		
総面積(廊下等の共用部込み)	約13,200㎡		
なお、D棟(プール含む)は築年数が浅いため、本事業では建替えを見送ることとし、適宜必要な改修等を行います。			

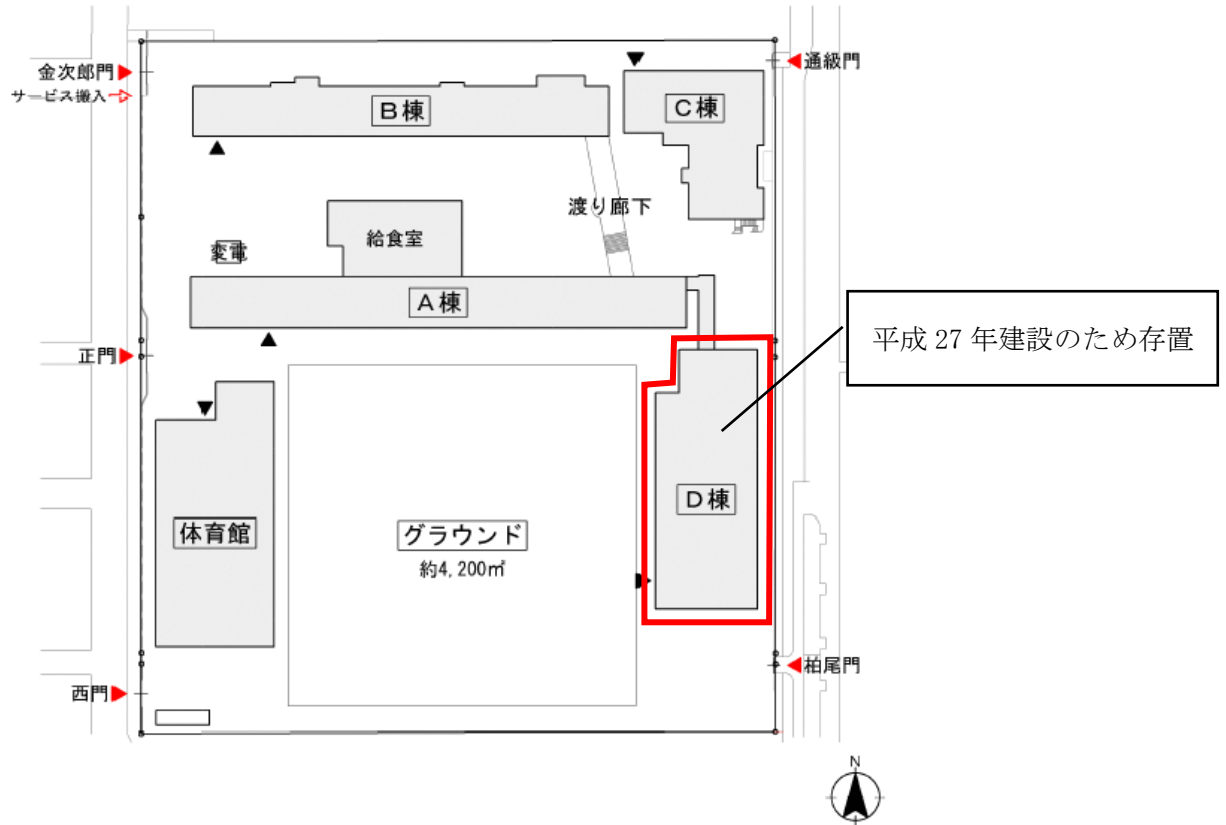
	<p>【位置図】</p>  <p>※横浜市行政地図情報提供 i マップより</p>												
<p>事業 スケジュール</p>	<p>R3～R5:基本計画、基本設計、実施設計 R6～R9:新築工事、既存校舎解体工事等 R10:供用開始 ※今後、変更になる可能性があります。</p>												
<p>総事業費</p>	<p>約 57.6 億円(うち国費約 11.0 億円) <u>※R2 年度算出。今後の精査により、変更が生じる場合があります。</u> ※内訳については四捨五入しており、合計金額と合致しないところがあります。</p> <table border="1" data-bbox="523 1366 1414 1697"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>金額(税込)</th> <th>内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計等委託費</td> <td>約 2.6 億円</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>工事費</td> <td>約 48.9 億円</td> <td>新築工事費約 43.1 億円、既存教室改修費約 0.7 億円、校庭整備工事費約 2.2 億円、仮設設置費約 2.9 億円</td> </tr> <tr> <td>解体費</td> <td>約 6.1 億円</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>※新築工事費 【校舎棟】 ・平米単価は 34.3 万円(税抜)で試算。(本市の H29 新築工事实績を基に、物価上昇率を見込み算出) ・34.3 万円(税抜)×約 9,936m²=約 34.1 億円(税抜)</p>	項目	金額(税込)	内訳	設計等委託費	約 2.6 億円	—	工事費	約 48.9 億円	新築工事費約 43.1 億円、既存教室改修費約 0.7 億円、校庭整備工事費約 2.2 億円、仮設設置費約 2.9 億円	解体費	約 6.1 億円	—
項目	金額(税込)	内訳											
設計等委託費	約 2.6 億円	—											
工事費	約 48.9 億円	新築工事費約 43.1 億円、既存教室改修費約 0.7 億円、校庭整備工事費約 2.2 億円、仮設設置費約 2.9 億円											
解体費	約 6.1 億円	—											

		<p>【通級棟】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平米単価は 42.2 万円(税抜)で試算。(本市の H28 通級棟新築工事実績を基に、物価上昇率を見込み算出) ・42.2 万円(税抜)×約 1,200 m²=約 5.1 億円(税抜) <p>計 (約 34.1 億円+約 5.1 億円)×1.1=約 43.1 億円(税込)</p>																																																				
事業の必要性		<p>① 必要性</p> <p>本市では、学齢期人口の急増に対応し、昭和 40 年代から 50 年代にかけて学校施設を集中的に整備してきたため、現状では5割以上の学校が築後 40 年以上経過しています。</p> <p>そのため、「横浜市立小・中学校施設の建替えに関する基本方針(平成 29 年5月策定)」及び「横浜市公共建築物の再編整備の方針(平成 30 年2月策定)」に基づき、教育委員会事務局内で開催された建替対象校選定会議において、戸塚小学校を建替対象校として選定しました。</p> <p>・事業費算出の根拠とした児童数・学級数推計値(一般学級のみ)(R2.4 時点)</p> <table border="1" data-bbox="494 981 1412 1126"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">戸塚小</td> <td>児童数</td> <td>896</td> <td>911</td> <td>923</td> <td>969</td> <td>1,030</td> <td>1,093</td> <td>1,152</td> </tr> <tr> <td>学級数</td> <td>27</td> <td>27</td> <td>28</td> <td>30</td> <td>32</td> <td>34</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table> <p>(参考)</p> <p>・直近の児童数・学級数推計値(一般学級のみ)(R3.4 時点)</p> <table border="1" data-bbox="494 1265 1412 1411"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">戸塚小</td> <td>児童数</td> <td>884</td> <td>886</td> <td>925</td> <td>976</td> <td>1,035</td> <td>1,100</td> <td>1,117</td> </tr> <tr> <td>学級数</td> <td>26</td> <td>26</td> <td>28</td> <td>30</td> <td>32</td> <td>34</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table> <p>学級数については、「公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律」の一部改正により、令和3年度から令和7年度までの間に、第2学年から第6学年まで段階的に 35 人とする事となりました(第2学年までは実施済み)。</p> <p>35 人学級化の影響及び通学区域である戸塚駅周辺におけるマンション開発により、児童数が急増する見込みがあり、教室不足に対応する必要があります。令和9年まで増加傾向となっており、最大 35 教室の普通教室が必要になります。</p> <p>当校には通級指導教室^{※2}を設けております。これは市内小・中・特別支援学校 22 校に設置されており、戸塚区では本校のみとなります。</p> <p>※2 小中学校の一般の学級に在籍する軽度の障害がある児童生徒が、障害に応じた特別な指導を受けるための教室</p>			R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	戸塚小	児童数	896	911	923	969	1,030	1,093	1,152	学級数	27	27	28	30	32	34	35			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	戸塚小	児童数	884	886	925	976	1,035	1,100	1,117	学級数	26	26	28	30	32	34	35
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8																																														
戸塚小	児童数	896	911	923	969	1,030	1,093	1,152																																														
	学級数	27	27	28	30	32	34	35																																														
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9																																														
戸塚小	児童数	884	886	925	976	1,035	1,100	1,117																																														
	学級数	26	26	28	30	32	34	35																																														

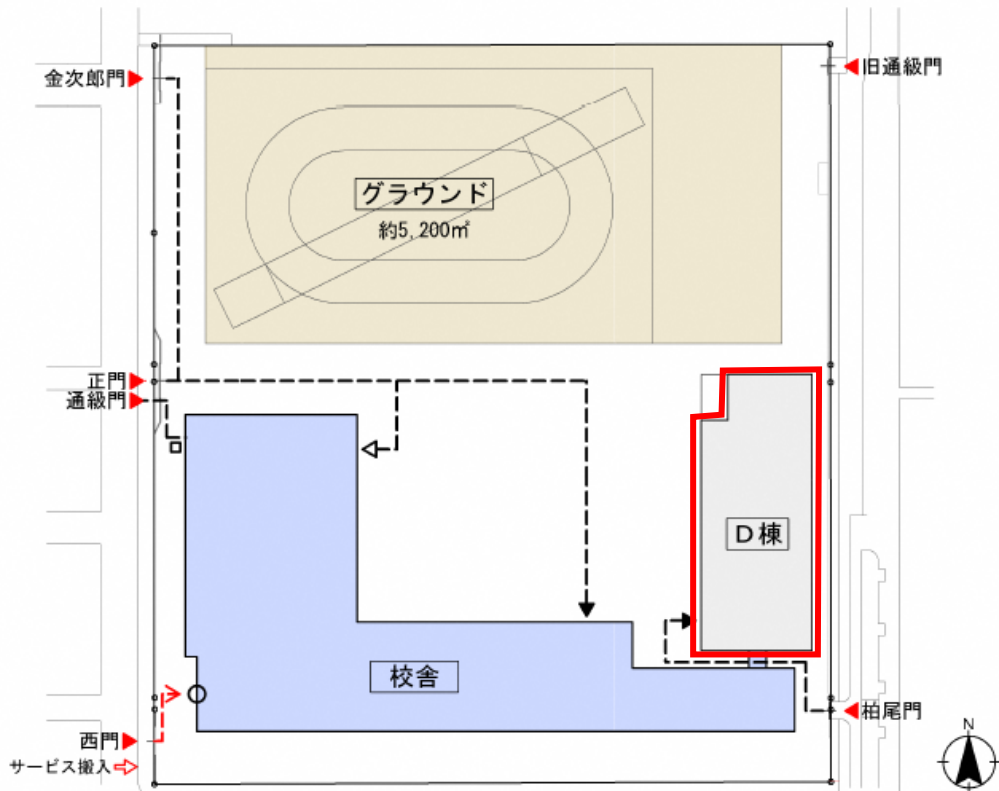
	<p>②上位計画における位置付け</p> <p>(横浜市中期4か年計画2018～2021 政策26:子どもたちの豊かな学びを育むための魅力ある学校づくり 主な施策(事業)1:計画的な学校施設の建替え)</p> <p>「横浜市立小・中学校施設の建替えに関する基本方針」に基づき、各対象校の建替えが最善の形で進められるよう、建替えの実施に必要な基本構想や設計を進め、工事に着手します。</p> <p>(第3期横浜市教育振興基本計画2018-2022 柱9:安全・安心な環境 施策2:学校施設の計画的な建替えの推進 主な取組:①学校施設の計画的な建替え)</p> <p>学校施設の建替えの実施に向けて、国費の導入に必要な調査等を実施します。また、新しい学習内容を柔軟に取り入れられるように配慮しながら、長期的な視野を持ち、学校関係者や地域の方の意見を踏まえて、建替えを進めます。</p> <p>③適地性</p> <p>戸塚小学校以外の敷地で、小学校の整備に必要な面積を確保できる市有地が近隣にないため、現敷地での整備としました。</p>
<p>事業の効果 (費用便益分析等)</p>	<p>① 定性的事項について</p> <p>本事業の実施により、適切な施設整備をすることとなり、児童の安全・安心及びより良い教育環境を確保することができます。</p> <p>② コスト縮減の取組みについて</p> <p>仮設校舎を設置する場合でも、必要最低限の教室数を設置するプランを検討・提案し、学校関係者、地域の代表者による検討会でもその方向性について了解を得ています。</p> <p>③ 防災面について</p> <p>内水ハザードマップの最大浸水が1m未満(一部2m未満)、洪水ハザードマップの最大浸水が5m未満(一部3m未満)のため、体育館や職員室、電気室等を2階以上にあげた設計を検討します。</p> <p>災害時に利用可能な蓄電池などの一部設備を導入する予定です。</p> <p>浸水想定区域がかかる場合は、関係局と調整し、必要に応じて調整池等を整備します。</p>
<p>環境への配慮</p>	<p>① 「横浜市の公共建築物における環境配慮基準」に基づく整備の実施</p> <p>低炭素社会に対応した環境への配慮や省エネルギー対策など、横浜市建築物環境配慮制度(CASBEE 横浜)が A ランク以上の水準になるよう定めています。</p>

	<p>② 木材の利用の促進</p> <p>本市の公共建築物における木材利用の促進に関する方針を踏まえ、内装等の木質化等を進めます。</p>
地域の状況等	<p>学校関係者、地域の代表者による検討会を設置し、ご意見をいただきながら基本構想を策定しました。</p> <p>【検討会】</p> <p>第1回:令和2年9月 15 日(火)</p> <p>第2回:令和2年12 月 24 日(木)</p> <p>第3回:令和3年4月 30 日(金)</p>
事業手法	公共発注方式とします。
添付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・別紙1 校舎配置図 ・別紙2 ハザードマップ ・別紙3 現行の施設と新しい学校の整備水準の比較について (R2.4時点)
参考資料	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市立小・中学校施設の建替えに関する基本方針(平成29年5月) <p>https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/kyoiku/saku/gakko/tatekae/hoshin.html</p>
担当部署	教育委員会事務局教育施設課 (TEL 045-671-3531)

【戸塚小学校既存校舎配置図】



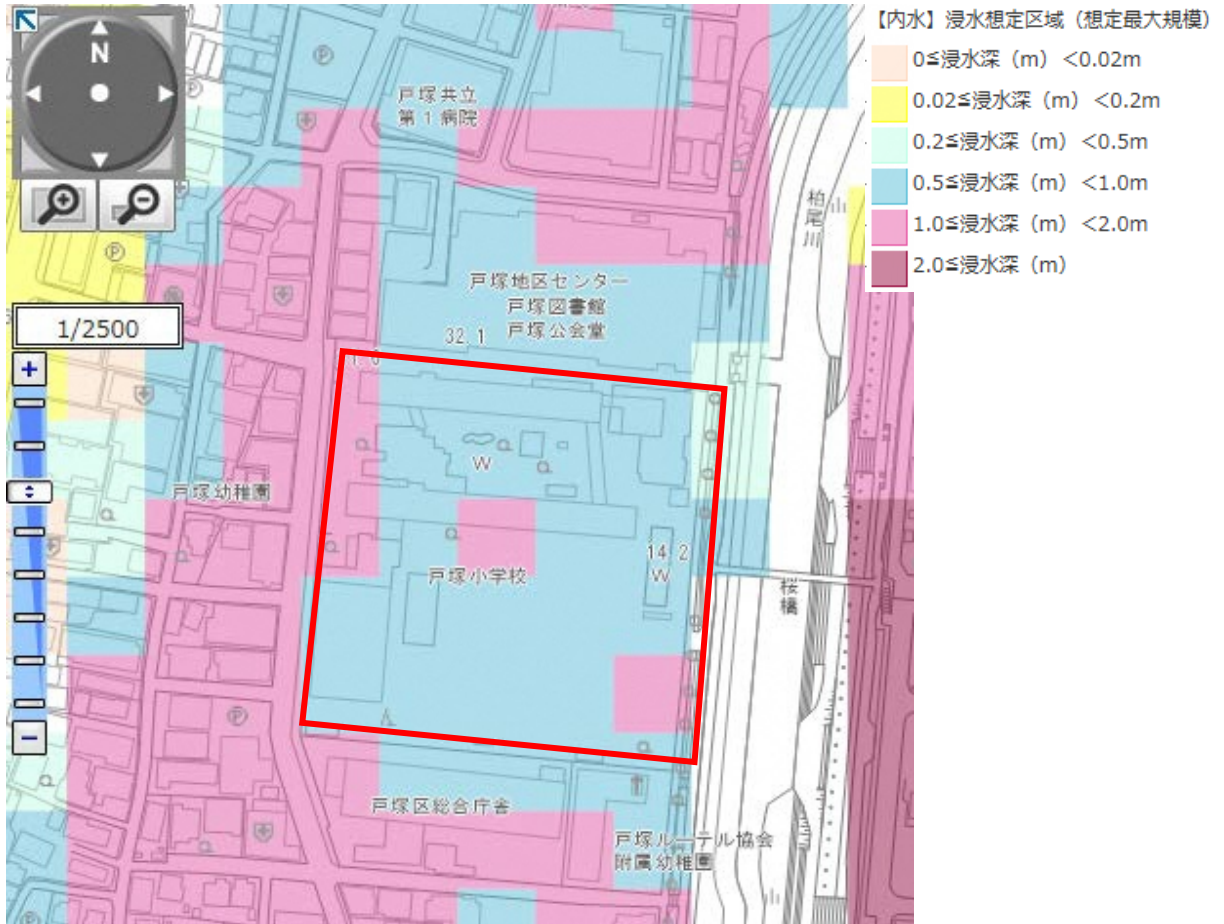
【整備イメージ図】



【凡例】

- ▲ 児童出入口
- △ 地域開放出入口
- 給食搬出入口
- 通級出入口

【内水ハザードマップ】



※横浜市行政地図提供システム わいわい防災マップ (内水) より

【洪水ハザードマップ】



※横浜市行政地図提供システム わいわい防災マップ (洪水) より

【土砂災害ハザードマップ (1/2500)】



※横浜市行政地図提供システム わいわい防災マップ (土砂災害) より

現行の施設と新しい学校の整備水準の比較について(R2.4時点)

種別	室名		整備水準(小学校35CR)		整備前(現況)		整備後(予定)		
			CR数 (64㎡/CR)	面積 (㎡)	CR数	面積 (㎡)	CR数 (64㎡/CR)	面積 (㎡)	
教室	1	普通教室	学級数	/	27.0	1728.0	35.0	2240.0	○(D棟5CR分)
	2	個別支援教室	学級数	/	8.0	512.0	10.0	640.0	
	3	特別支援教室	1.0	64.0	0.0	0.0	1.0	64.0	
特別教室	4	理科教室	4.0	256.0	2.0	128.0	4.0	256.0	
	5	音楽教室	4.0	256.0	1.5	96.0	4.0	256.0	
	6	家庭科教室	2.0	128.0	2.0	128.0	2.0	128.0	
	7	図画工作教室	2.0	128.0	2.0	128.0	2.0	128.0	
	8	図書室	2.0	128.0	2.0	128.0	2.0	128.0	○
	9	コンピューター教室	/	/	1.0	64.0	/	/	
	10	教育相談室	0.5	32.0	0.5	32.0	0.5	32.0	○
多目的室	11	多目的室(水廻り学習等)	1.5	96.0	2.0	128.0	2.0	128.0	○
	12	多目的室(集会・発表等)	2.0	128.0	2.0	128.0	2.0	128.0	○
	13	多目的室(少人数指導)	3.0	192.0	2.0	128.0	3.0	192.0	
	14	多目的室(学校指定)	3.0	192.0	1.0	64.0	3.0	192.0	
管理諸室	15	校長室	0.5	32.0	0.5	32.0	0.5	32.0	
	16	職員室	3.5	224.0	2.5	160.0	3.5	224.0	
	17	事務室	0.5	32.0	0.5	32.0	0.5	32.0	
	18	保健室	1.0	64.0	1.0	64.0	1.0	64.0	○
	19	保健相談室・教材教具室①	0.5	32.0	0.5	32.0	0.5	32.0	○
	20	放送・スタジオ室	0.5	32.0	1.0	64.0	0.5	32.0	▲
	21	会議室	1.0	64.0	0.0	0.0	1.0	64.0	
	22	印刷室	0.5	32.0	0.5	32.0	0.5	32.0	
	23	職員更衣室	0.5	32.0	0.5	32.0	0.5	32.0	
	24	技術員室・湯沸室	0.5	32.0	0.5	32.0	0.5	32.0	
	25	休養室	0.5	32.0	0.0	0.0	0.5	32.0	
	26	職員・来校者用玄関	0.5	32.0	0.5	32.0	0.5	32.0	
	27	教材教具室②	1.5	96.0	1.0	64.0	1.5	96.0	
	28	変電室	1.0	64.0	別棟	/	1.0	64.0	
	29	倉庫	0.5	32.0	0.5	32.0	0.5	32.0	
30	PTA会議室	0.5	32.0	0.5	32.0	0.5	32.0		
31	地域交流室	0.5	32.0	1.0	64.0	0.5	32.0	▲	
その他	32	児童更衣室	1.0	64.0	0.5	32.0	1.0	64.0	
	33	昇降口	2.5	160.0	2.5	160.0	2.5	160.0	
	34	キッズ	2.0	128.0	1.5	96.0	2.0	128.0	
	35	給食室	/	350.0	/	333.0	/	350.0	
	36	EV	/	1基	/	1基	/	2基	○(1基はD棟分)
	37	屋内運動場(アリーナ面積)	/	1080.0	/	698.0	/	1080.0	
	38	通級棟	/	/	/	1135.0	/	1168.0	
					約6,600		約8,400		
その他	39	プール	/	適宜	/	520.0	/	520.0	○
	40	共用部(トイレ・廊下・階段等)	/	適宜	/	2900.0	/	適宜	

- …整備前から増加
- ▲ …整備前から減少
- …既存利用(D棟)

(様式2)

公共事業事前評価調書

事業概要	事業名	【教育－2】学校施設の建替事業（矢向小学校）		
	場所 (所在地)	鶴見区矢向3-8-1		
	事業目的	矢向小学校は校舎が古く、老朽化しているため、学校施設の建替えを実施します。		
	事業内容	矢向小学校の老朽化対策として、現敷地内に新校舎棟を整備します。		
		【現在の施設状況】(令和2年4月時点)		
		建設年度	昭和38年(1963年)	
		最古の棟の築年数	57年	
		屋内運動場築年数	55年	
		平均築年数	48.6年	
		種別		数量
普通教室		27教室		
個別支援教室		5教室		
多目的室		2教室		
音楽室や理科室等の特別教室		6教室		
その他職員室等の管理諸室・体育施設等				
面積(整備水準)の小計		約4,500㎡		
総面積(廊下等の共用部込み)		約8,300㎡		
【新規整備内容(予定)】敷地面積:約12,363㎡				
種別		数量		
普通教室		25教室		
個別支援教室		5教室		
特別支援教室		1教室		
多目的室		4教室		
音楽室や理科室等の特別教室		6教室		
その他職員室等の管理諸室、体育施設等				
面積(整備水準)の小計		約5,500㎡		
総面積(廊下等の共用部込み)		約8,800㎡		

	<p>【位置図】</p>  <p>※横浜市行政地図情報提供 i マップより</p>												
<p>事業 スケジュール</p>	<p>R3～R5:基本計画、基本設計、実施設計 R6～R11:新築工事、既存校舎解体工事等 R12:供用開始 ※今後、変更になる可能性があります。</p>												
<p>総事業費</p>	<p>約 51.5 億円(うち国費約 6.3 億円) <u>※R2 年度算出。今後の精査により、変更が生じる場合があります。</u> ※内訳については四捨五入しており、合計金額と合致しないところがあります。</p> <table border="1" data-bbox="528 1301 1414 1585"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>金額(税込)</th> <th>内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計等委託費</td> <td>約 2.6 億円</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>工事費</td> <td>約 38.7 億円</td> <td>新築工事費約 33.2 億円、校庭整備工事費約 2.2 億円、仮設設置費約 3.3 億円</td> </tr> <tr> <td>解体費</td> <td>約 10.3 億円</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>※新築工事費・平米単価は 34.3 万円(税抜)で試算しました。(本市の H29 新築工事实績を基に、物価上昇率を見込み算出) ・校舎棟 34.3 万円(税抜)×約 8,754 m²=約 30 億円(税抜) ・屋上緑化 1.38 万円(税抜)×約 1,000 m²=約 0.138 億円(税抜)</p> <p>計 (約 30 億円+約 0.138 億円)×1.1=約 33.2 億円(税込)</p>	項目	金額(税込)	内訳	設計等委託費	約 2.6 億円	—	工事費	約 38.7 億円	新築工事費約 33.2 億円、校庭整備工事費約 2.2 億円、仮設設置費約 3.3 億円	解体費	約 10.3 億円	—
項目	金額(税込)	内訳											
設計等委託費	約 2.6 億円	—											
工事費	約 38.7 億円	新築工事費約 33.2 億円、校庭整備工事費約 2.2 億円、仮設設置費約 3.3 億円											
解体費	約 10.3 億円	—											

事業の
必要性

① 必要性

本市では、学齢期人口の急増に対応し、昭和40年代から50年代にかけて学校施設を集中的に整備してきたため、現状では5割以上の学校が築後40年以上経過しています。

そのため、「横浜市立小・中学校施設の建替えに関する基本方針(平成29年5月策定)」及び「横浜市公共建築物の再編整備の方針(平成30年2月策定)」に基づき、教育委員会事務局内で開催された建替対象校選定会議において、矢向小学校を建替対象校として選定しました。

・事業費算出の根拠とした児童数・学級数推計値(一般学級のみ)(R2.4時点)

		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
矢向小	児童数	917	934	938	914	892	841	785
	学級数	27	28	28	28	28	27	25

(参考)

・直近の児童数・学級数推計値(一般学級のみ)(R3.4時点)

		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
矢向小	児童数	931	940	921	900	845	790	738
	学級数	28	29	29	29	28	26	24

学級数については、「公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律」の一部改正により、令和3年度から令和7年度までの間に、第2学年から第6学年まで段階的に35人とすることとなりました(第2学年までは実施済み)。

②上位計画における位置付け

(横浜市中期4か年計画2018～2021 政策26:子どもたちの豊かな学びを育むための魅力ある学校づくり 主な施策(事業)1:計画的な学校施設の建替え)

「横浜市立小・中学校施設の建替えに関する基本方針」に基づき、各対象校の建替えが最善の形で進められるよう、建替えの実施に必要な基本構想や設計を進め、工事に着手します。

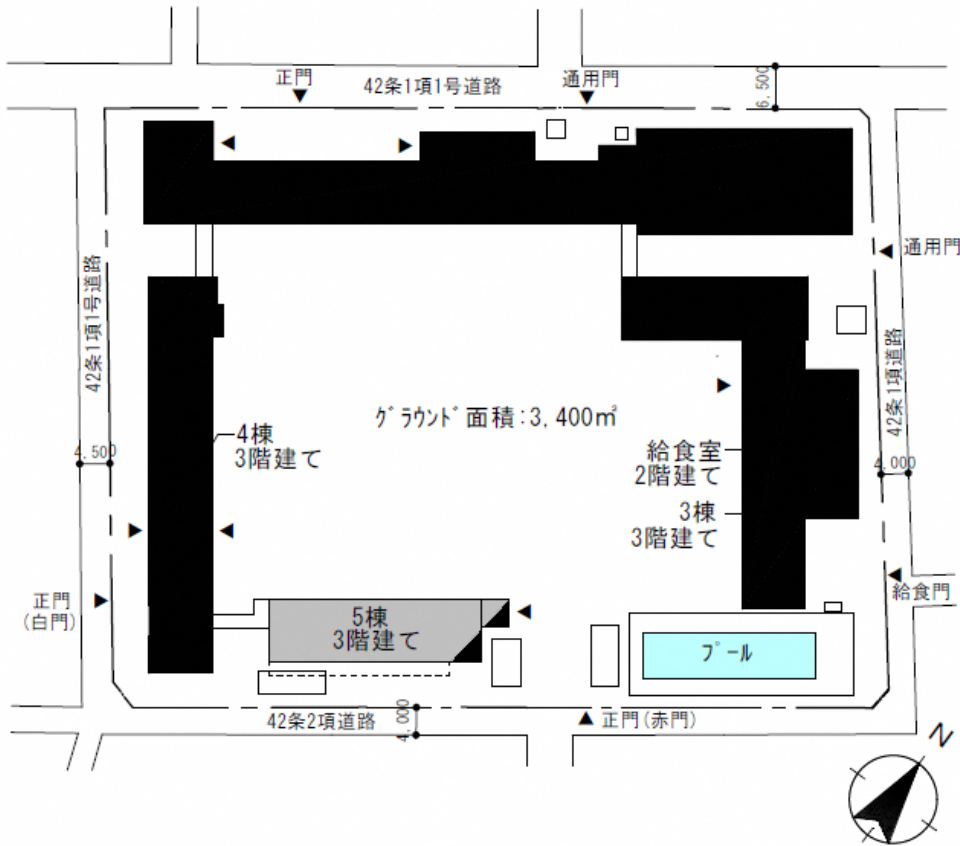
(第3期横浜市教育振興基本計画2018-2022 柱9:安全・安心な環境 施策2:学校施設の計画的な建替えの推進 主な取組:①学校施設の計画的な建替え)

学校施設の建替えの実施に向けて、国費の導入に必要な調査等を実施します。また、新しい学習内容を柔軟に取り入れられるように配慮しながら、長期的な視野を持ち、学校関係者や地域の方の意見を踏まえて、建替えを進めます。

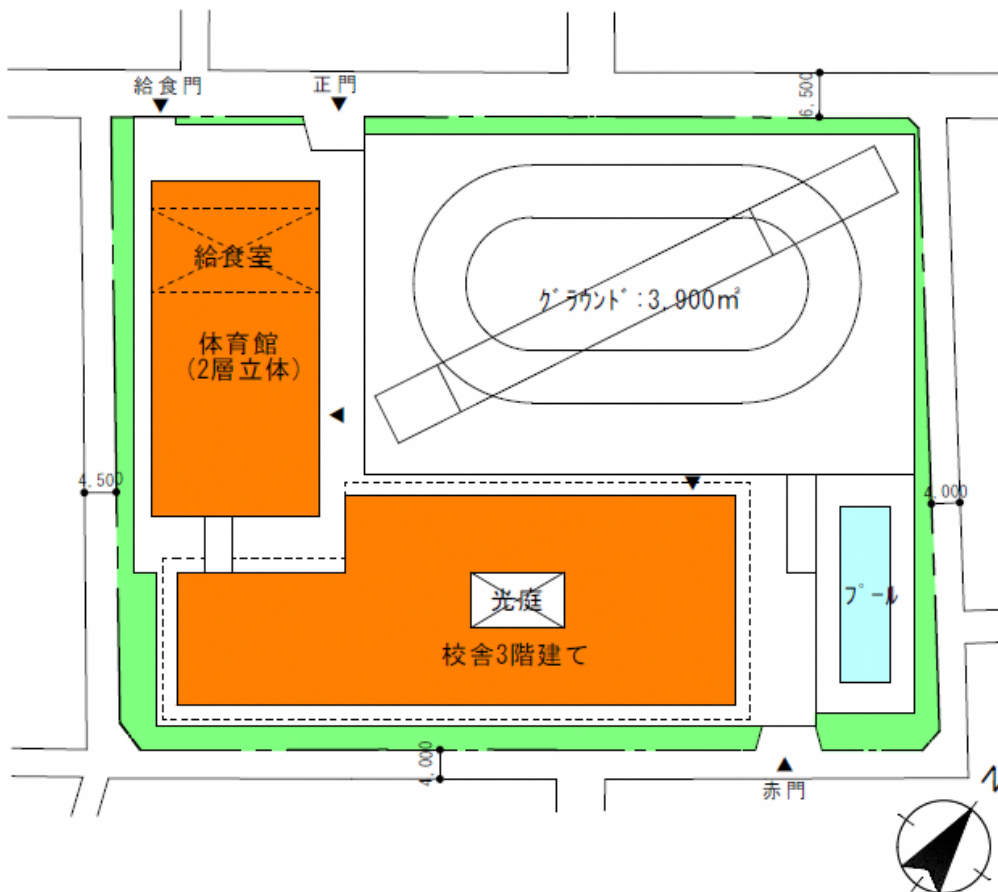
	<p>③適地性</p> <p>矢向小学校以外の敷地で、小学校の整備に必要な面積を確保できる市有地が近隣にないため、現敷地での整備としました。</p>
業の効果 (費用便益分析等)	<p>① 定性的事項について</p> <p>本事業の実施により、適切な施設整備をすることとなり、児童の安全・安心及びより良い教育環境を確保することができます。</p> <p>② コスト縮減の取組みについて</p> <p>仮設校舎を設置する場合でも、必要最低限の教室数を設置するプランを検討・提案し、学校関係者、地域の代表者による検討会でもその方向性について了解を得ています。</p> <p>③ 防災面について</p> <p>内水ハザードマップの最大浸水が 0.2m未満(一部 0.5m未満)、洪水ハザードマップの最大浸水が3m未満(一部 0.5m未満)のため、体育館や職員室、電気室等を2階以上にあげた設計を検討します。</p> <p>災害時に利用可能な蓄電池などの一部設備を導入する予定です。</p> <p>浸水想定区域がかかる場合は、関係局と調整し、必要に応じて調整池等を整備します。</p>
環境への配慮	<p>① 「横浜市の公共建築物における環境配慮基準」に基づく整備の実施</p> <p>低炭素社会に対応した環境への配慮や省エネルギー対策など、横浜市建築物環境配慮制度(CASBEE 横浜)が A ランク以上の水準になるよう定めています。</p> <p>② 木材の利用の促進</p> <p>本市の公共建築物における木材利用の促進に関する方針を踏まえ、内装等の木質化等を進めます。</p>
地域の状況等	<p>学校関係者、地域の代表者による検討会を設置し、ご意見をいただきながら基本構想を策定しました。</p> <p>【検討会】</p> <p>第1回:令和2年9月 16 日(水)</p> <p>第2回:令和2年12 月3日(木)</p> <p>第3回:令和3年1月 ※書面開催</p>
事業手法	公共発注方式とします。
添付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・別紙1 校舎配置図 ・別紙2 ハザードマップ ・別紙3 現行の施設と新しい学校の整備水準の比較について (R2.4時点)

参考資料	・横浜市立小・中学校施設の建替えに関する基本方針（平成 29 年 5 月） https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/kyoiku/esaku/gakko/tatekae/hoshin.html
担当部署	教育委員会事務局教育施設課（TEL 045-671-3531）

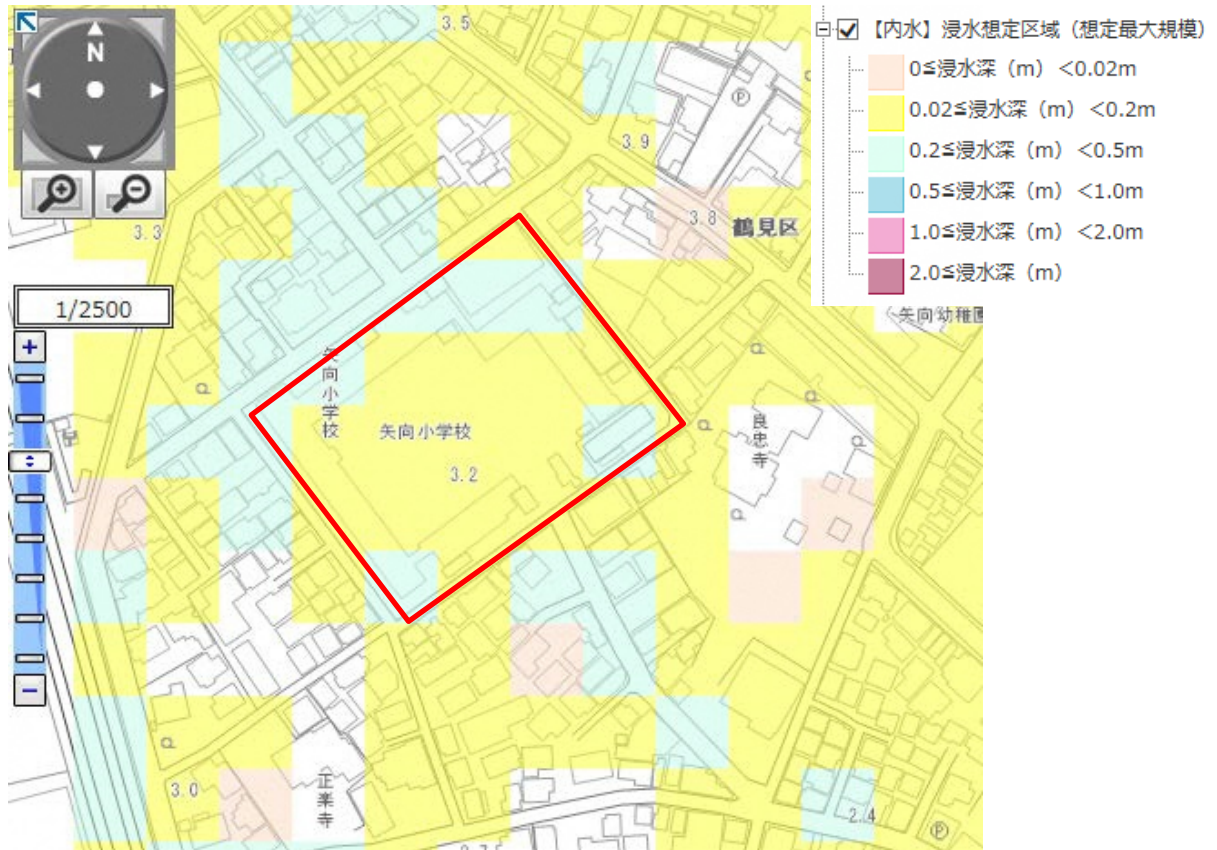
【矢向小学校既存校舎配置図】



【整備イメージ図】

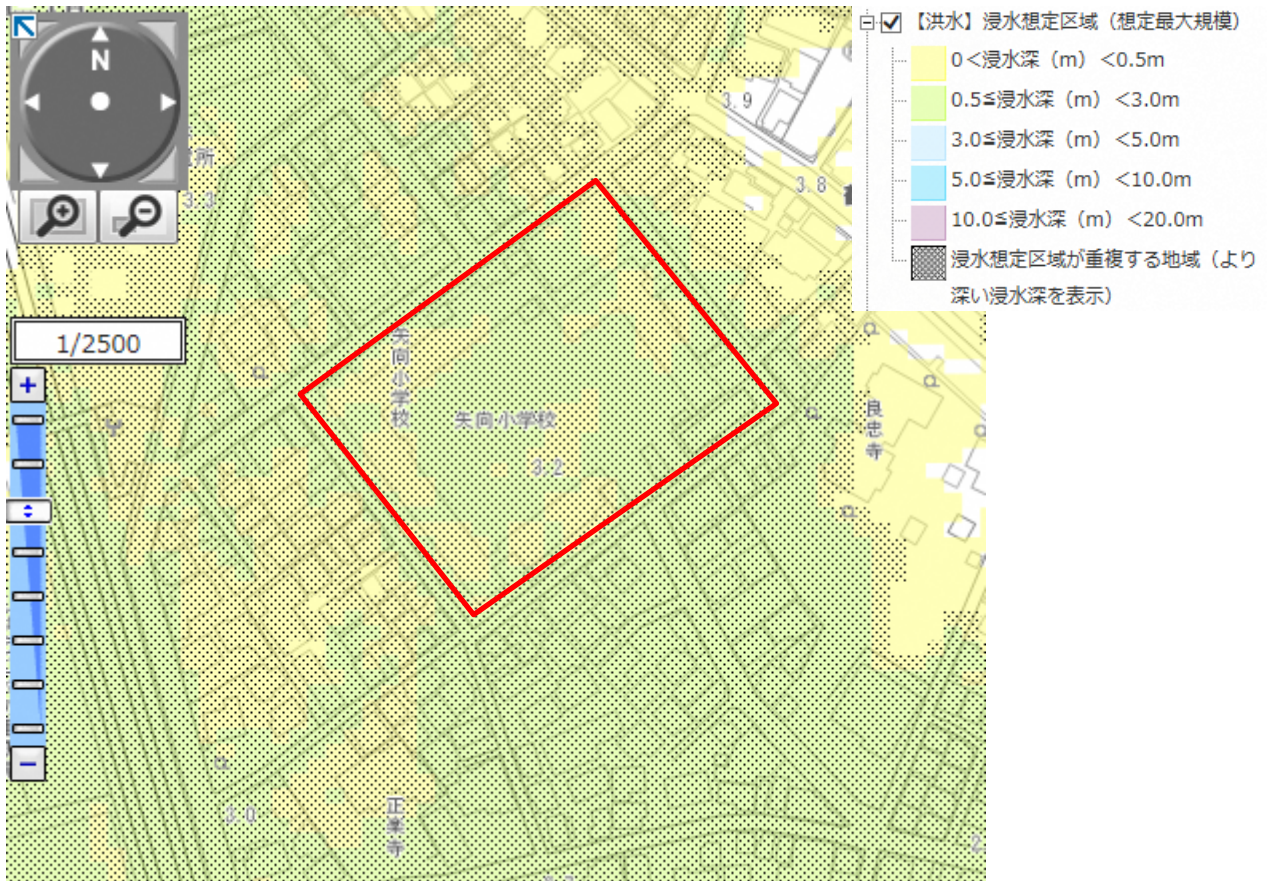


【内水ハザードマップ】



※横浜市行政地図提供システム わいわい防災マップ (内水) より

【洪水ハザードマップ】



※横浜市行政地図提供システム わいわい防災マップ (洪水) より

【土砂災害ハザードマップ】



※横浜市行政地図提供システム わいわい防災マップ（土砂災害）より

現行の施設と新しい学校の整備水準の比較について(R2.4時点)

種別	室名		整備水準(小学校25CR)		整備前		整備後(予定)		
			CR数 (64㎡/CR)	面積 (㎡)	CR数 (63㎡/CR)	面積 (㎡)	CR数 (64㎡/CR)	面積 (㎡)	
教室	1	普通教室	学級数	/	27.0	1701.0	25.0	1600.0	▲
	2	個別支援教室	学級数	/	5.0	315.0	5.0	320.0	
	3	特別支援教室	1.0	64.0	0.0	0.0	1.0	64.0	
特別教室	4	理科教室	2.0	128.0	2.0	126.0	2.0	128.0	
	5	音楽教室	2.0	128.0	4.0	252.0	2.0	128.0	▲
	6	家庭科教室	2.0	128.0	2.0	126.0	2.0	126.0	
	7	図画工作教室	2.0	128.0	2.0	126.0	2.0	126.0	
	8	図書室	2.0	128.0	2.0	113.6	2.0	128.0	
	9	教育相談室・耐火書庫	0.5	32.0	0.5	31.5	0.5	32.0	
多目的室	10	多目的室(水廻り学習等)	1.5	96.0	0.0	0.0	1.5	96.0	
	11	多目的室(集会・発表等)	2.0	128.0	0.0	0.0	2.0	128.0	
	12	多目的室(少人数指導)	2.0	128.0	1.0	63.0	2.0	128.0	
	13	多目的室(学校指定)	3.0	192.0	5.0	315.0	3.0	192.0	▲
管理諸室	14	校長室	0.5	32.0	0.5	31.5	0.5	32.0	
	15	職員室	3.0	192.0	2.0	126.0	3.0	192.0	
	16	事務室	0.5	32.0	0.5	31.5	0.5	32.0	
	17	保健室	1.0	64.0	1.0	63.0	1.0	64.0	
	18	保健相談室・教材教具室①	0.5	32.0	0.0	0.0	0.5	32.0	
	19	放送・スタジオ室	0.5	32.0	0.5	31.5	0.5	32.0	
	20	会議室	1.0	64.0	0.0	0.0	1.0	64.0	
	21	印刷室	0.5	32.0	0.5	31.5	0.5	32.0	
	22	職員更衣室	0.5	32.0	0.5	31.5	0.5	32.0	
	23	技術員室・湯沸室	0.5	32.0	1.0	63.0	0.5	32.0	▲
	24	休養室	0.5	32.0	0.0	0.0	0.5	32.0	
	25	職員・来校者用玄関	0.5	32.0	0.5	31.5	0.5	32.0	
	26	教材教具室②	1.5	96.0	0.0	0.0	1.5	96.0	
	27	変電室	1.0	64.0	別棟	/	1.0	64.0	
	28	倉庫	0.5	32.0	別棟	/	0.5	32.0	
	29	PTA会議室	0.5	32.0	0.0	0.0	0.5	32.0	
30	地域交流室	0.5	32.0	0.0	0.0	0.5	32.0		
その他	31	児童更衣室	1.0	64.0	0.0	0.0	1.0	64.0	
	32	昇降口	2.0	128.0	3.0	189.0	2.0	128.0	▲
	33	キッズ	適宜	適宜	1.0	63.0	2.0	128.0	
	34	給食室	/	350.0	/	211.0	/	350.0	
	35	EV	/	1基	/	0基	/	1基	
	36	屋内運動場(アリーナ面積)	/	720.0	/	416.0	/	720.0	
						約4,500		約5,500	
その他	37	プール	/	適宜	/	560.0	/	適宜	
	38	共用部(トイレ・廊下・階段等)	/	適宜	/	3300.0	/	適宜	

※面積はおおよそになります。

- …整備前から増加
▲ …整備前から減少

(様式2)

公共事業事前評価調書

事業概要	事業名	【教育－3】学校施設の建替事業（菊名小学校）	
	場所 (所在地)	港北区菊名5-18-1	
	事業目的	菊名小学校は一部の校舎が古く、老朽化しているため、学校施設の建替を実施します。	
	事業内容	菊名小学校の老朽化対策として、現敷地内に新校舎棟を整備します。	
		【現在の施設状況】(令和2年4月時点)	
		建設年度	昭和43年(1968年)
		最古の棟の築年数	52.0年
		屋内運動場築年数	34年
		平均築年数	47.8年
		種別	
普通教室		26教室	
個別支援教室		4教室	
音楽室や理科室等の特別教室		5教室	
その他職員室等の管理諸室・体育施設等			
面積(整備水準)の小計		約4,100㎡	
総面積(廊下等の共用部込み)		約6,800㎡	
【新規整備内容(予定)】敷地面積:約17,186㎡			
種別		数量	
普通教室		30教室	
個別支援教室		4教室	
特別支援教室		1教室	
多目的室	4教室		
音楽室や理科室等の特別教室	6教室		
その他職員室等の管理諸室、体育施設等			
面積(整備水準)の小計	約5,600㎡		
総面積(廊下等の共用部込み)	約8,600㎡		
なお、体育館は、躯体の構造耐力や鉄筋状況などの調査の結果、現時点では建替が必要な状態ではなく、またプールは築年数が浅いため、本事業では存置することとし、適宜必要な改修等を別途行う予定です。			

		<p>【位置図】</p>  <p>※横浜市行政地図情報提供 i マッパーより</p>												
事業スケジュール		<p>R3～R5:基本計画、基本設計、実施設計 R5～R10:新築工事、既存校舎解体工事等 R10:供用開始 <u>※今後、変更になる可能性があります。</u></p>												
総事業費		<p>約 47.9 億円(うち国費約 6.0 億円) <u>※R2 年度算出。今後の精査により、変更が生じる場合があります。</u> <u>※内訳については四捨五入しており、合計金額と合致しないところがあります。</u></p> <table border="1" data-bbox="528 1317 1414 1603"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>金額(税込)</th> <th>内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計等委託費</td> <td>約 2.6 億円</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>工事費</td> <td>約 38.0 億円</td> <td>新築工事費約 29.3 億円、校庭整備工事費約 3.3 億円、仮設設置費約 5.5 億円</td> </tr> <tr> <td>解体費</td> <td>約 7.3 億円</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>※新築工事費・平米単価は 34.3 万円(税抜)で試算しました。(本市の H29 新築工事实績を基に、物価上昇率を見込み算出) ・校舎棟 34.3 万円(税抜)×約 7,764m²×1.1=約 29.3 億円(税込)</p>	項目	金額(税込)	内訳	設計等委託費	約 2.6 億円	—	工事費	約 38.0 億円	新築工事費約 29.3 億円、校庭整備工事費約 3.3 億円、仮設設置費約 5.5 億円	解体費	約 7.3 億円	—
項目	金額(税込)	内訳												
設計等委託費	約 2.6 億円	—												
工事費	約 38.0 億円	新築工事費約 29.3 億円、校庭整備工事費約 3.3 億円、仮設設置費約 5.5 億円												
解体費	約 7.3 億円	—												
事業の必要性		<p>① 必要性 本市では、学齢期人口の急増に対応し、昭和 40 年代から 50 年代にかけて学校施設を集中的に整備してきたため、現状では 5 割以上の学校が築後 40 年以上経過しています。 そのため、「横浜市立小・中学校施設の建替えに関する基本方針(平成</p>												

29年5月策定)」及び「横浜市公共建築物の再編整備の方針(平成30年2月策定)」に基づき、教育委員会事務局内で開催された建替対象校選定会議において、菊名小学校を建替対象校として選定しました。

・事業費算出の根拠とした児童数・学級数推計値(一般学級のみ)(R2.4時点)

		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
菊名小	児童数	897	918	920	935	961	958	969
	学級数	26	27	28	29	30	30	30

(参考)

・直近の児童数・学級数推計値(一般学級のみ)(R3.4時点)

		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
菊名小	児童数	896	908	922	958	963	972	960
	学級数	26	27	28	30	30	30	29

学級数については、「公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律」の一部改正により、令和3年度から令和7年度までの間に、第2学年から第6学年まで段階的に35人とすることとなりました(第2学年までは実施済み)。

②上位計画における位置付け

(横浜市中期4か年計画2018～2021 政策26:子どもたちの豊かな学びを育むための魅力ある学校づくり 主な施策(事業)1:計画的な学校施設の建替え)

「横浜市立小・中学校施設の建替えに関する基本方針」に基づき、各対象校の建替えが最善の形で進められるよう、建替えの実施に必要な基本構想や設計を進め、工事に着手します。

(第3期横浜市教育振興基本計画2018-2022 柱9:安全・安心な環境 施策2:学校施設の計画的な建替えの推進 主な取組:①学校施設の計画的な建替え)

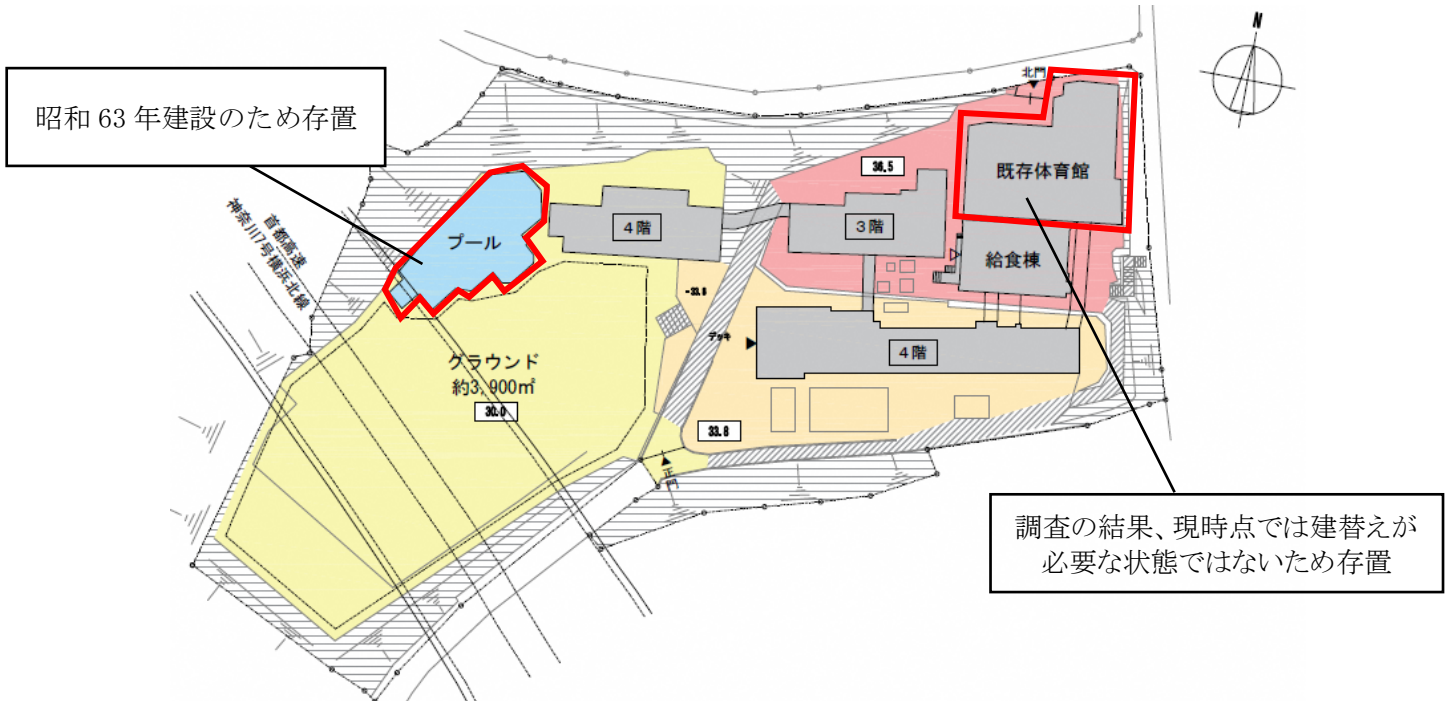
学校施設の建替えの実施に向けて、国費の導入に必要な調査等を実施します。また、新しい学習内容を柔軟に取り入れられるように配慮しながら、長期的な視野を持ち、学校関係者や地域の方の意見を踏まえて、建替えを進めます。

③適地性

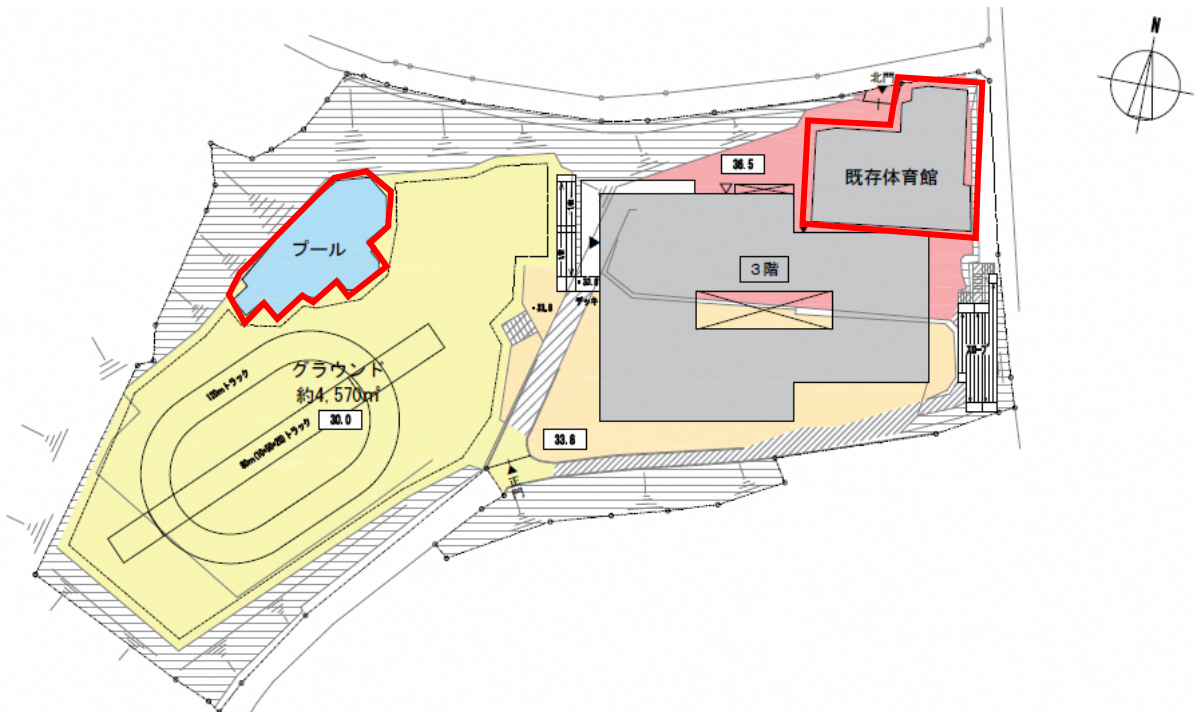
菊名小学校以外の敷地で、小学校の整備に必要な面積を確保できる市有地が近隣にないため、現敷地での整備としました。

<p>事業の効果 (費用便益分析等)</p>	<p>① 定性的事項について 本事業の実施により、適切な施設整備をすることとなり、児童の安全・安心及びより良い教育環境を確保することができます。</p> <p>② コスト削減の取組みについて 仮設校舎を設置する場合でも、必要最低限の教室数を設置するプランを検討・提案し、学校関係者、地域の代表者による検討会でもその方向性について了解を得ています。</p> <p>③ 防災面について 災害時に利用可能な蓄電池などの一部設備を導入する予定です。 浸水想定区域がかかる場合は、関係局と調整し、必要に応じて調整池等を整備します。</p>
<p>環境への配慮</p>	<p>① 「横浜市の公共建築物における環境配慮基準」に基づく整備の実施 低炭素社会に対応した環境への配慮や省エネルギー対策など、横浜市建築物環境配慮制度(CASBEE 横浜)が A ランク以上の水準になるよう定めています。</p> <p>② 木材の利用の促進 本市の公共建築物における木材利用の促進に関する方針を踏まえ、内装等の木質化等を進めます。</p>
<p>地域の状況等</p>	<p>学校関係者、地域の代表者による検討会を設置し、ご意見をいただきながら基本構想を策定しました。</p> <p>【検討会】 第1回:令和2年9月 11 日(金) 第2回:令和2年11 月 26 日(木) 第3回:令和3年1月 ※書面開催</p>
<p>事業手法</p>	<p>公共発注方式とします。</p>
<p>添付資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・別紙 1 校舎配置図 ・別紙 2 ハザードマップ ・別紙 3 現行の施設と新しい学校の整備水準の比較について (R2.4 時点)
<p>参考資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市立小・中学校施設の建替えに関する基本方針 (平成 29 年 5 月) <p>https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/kyoiku/sesaku/gakko/tatekae/hoshin.html</p>
<p>担当部署</p>	<p>教育委員会事務局教育施設課 (Tel 045-671-3531)</p>

【菊名小学校既存校舎配置図】



【整備イメージ図】

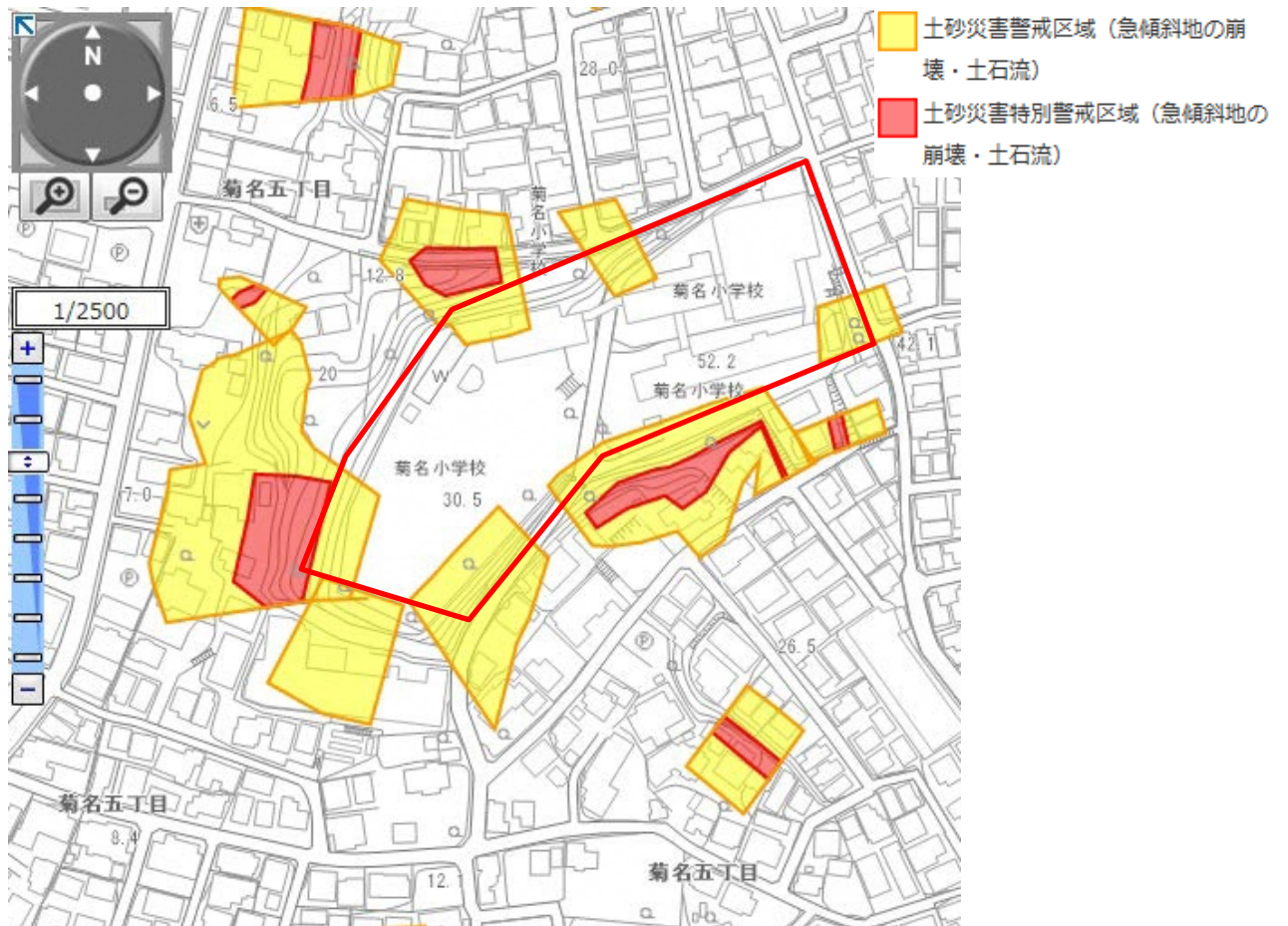


【内水ハザードマップ】



※横浜市行政地図提供システム わいわい防災マップ (内水) より

【土砂災害ハザードマップ】



※横浜市行政地図提供システム わいわい防災マップ (土砂災害) より

現行の施設と新しい学校の整備水準の比較について(R2.4時点)

種別	室名		整備水準(小学校30CR)		整備前		整備後(予定)	
			CR数 (64㎡/CR)	面積 (㎡)	CR数 (63㎡/CR)	面積 (㎡)	CR数 (64㎡/CR)	面積 (㎡)
教室	1	普通教室	学級数	/	26.0	1638.0	30.0	1920.0
	2	個別支援教室	学級数	/	3.5	220.5	4.0	256.0
	3	特別支援教室	1.0	64.0	0.0	0.0	1.0	64.0
特別教室	4	理科教室	2.0	128.0	2.0	126.0	2.0	128.0
	5	音楽教室	2.0	128.0	2.0	126.0	2.0	128.0
	6	家庭科教室	2.0	128.0	2.0	126.0	2.0	128.0
	7	図画工作教室	2.0	128.0	2.0	126.0	2.0	128.0
	8	図書室	2.0	128.0	2.0	113.6	2.0	128.0
	9	教育相談室・耐火書庫	0.5	32.0	0.0	0.0	0.5	32.0
多目的室	10	多目的室(水廻り学習等)	1.5	96.0	0.0	0.0	1.5	96.0
	11	多目的室(集会・発表等)	2.0	128.0	0.0	0.0	2.0	128.0
	12	多目的室(少人数指導)	2.0	128.0	0.0	0.0	2.0	128.0
	13	多目的室(学校指定)	3.0	192.0	0.0	0.0	3.0	192.0
管理諸室	14	校長室	0.5	32.0	0.4	25.0	0.5	32.0
	15	職員室	3.0	192.0	2.1	131.0	3.0	192.0
	16	事務室	0.5	32.0	0.0	0.0	0.5	32.0
	17	保健室	1.0	64.0	1.0	63.0	1.0	64.0
	18	保健相談室・教材教具室①	0.5	32.0	0.0	0.0	0.5	32.0
	19	放送・スタジオ室	0.5	32.0	1.0	63.0	0.5	32.0
	20	会議室	1.0	64.0	0.0	0.0	1.0	64.0
	21	印刷室	0.5	32.0	0.3	18.0	0.5	32.0
	22	職員更衣室	0.5	32.0	0.5	32.0	0.5	32.0
	23	技術員室・湯沸室	0.5	32.0	0.8	51.0	0.5	32.0
	24	休養室	0.5	32.0	0.0	0.0	0.5	32.0
	25	職員・来校者用玄関	0.5	32.0	0.3	15.4	0.5	32.0
	26	教材教具室②	1.5	96.0	0.0	0.0	1.5	96.0
	27	変電室	1.0	64.0	0.3	18.0	1.0	64.0
28	倉庫	0.5	32.0	/	/	0.5	32.0	
29	PTA会議室	0.5	32.0	0.5	31.5	0.5	32.0	
30	地域交流室	0.5	32.0	0.0	0.0	0.5	32.0	
その他	31	児童更衣室	1.0	64.0	0.0	0.0	1.0	64.0
	32	昇降口	2.5	160.0	2.0	126.0	2.5	160.0
	33	キッズ	適宜	適宜	1.0	63.0	2.0	128.0
	34	給食室	/	350.0	/	321.0	/	350.0
	35	EV	/	1基	/	0基	/	1基
	36	屋内運動場(アリーナ面積)	/	720.0	/	607.6	/	607.6
					約4,100		約5,600	
その他	37	プール	/	適宜	/	560.0	/	560.0
	38	共用部(トイレ・廊下・階段等)	/	適宜	/	2200.0	/	適宜

※面積はおおよそになります。

- … 整備前から増加
- ▲ … 整備前から減少
- … 既存利用

(様式2)

公共事業事前評価調書

事業概要	事業名	【教育－4】学校施設の建替事業（吉原小学校）		
	場所 (所在地)	港南区日野二丁目20-40		
	事業目的	吉原小学校は校舎が古く、老朽化しているため、学校施設の建替えを実施します。		
	事業内容	吉原小学校の老朽化対策として、現敷地内に新校舎棟を整備します。		
		【現在の施設状況】(令和2年4月時点)		
		建設年度	昭和41年(1966年)	
		最古の棟の築年数	53年	
		屋内運動場築年数	49年	
		平均築年数	48.3年	
		種別		
普通教室		18教室		
個別支援教室		4教室		
多目的室		2教室		
音楽室や理科室等の特別教室	6教室			
その他職員室等の管理諸室・体育施設等				
面積(整備水準)の小計	約3,500㎡			
総面積(廊下等の共用部込み)	約5,900㎡			
【新規整備内容(予定)】敷地面積:約10,736㎡				
種別				
普通教室	17教室			
個別支援教室	4教室			
特別支援教室	1教室			
多目的室	4教室			
音楽室や理科室等の特別教室	6教室			
その他職員室等の管理諸室、体育施設等				
面積(整備水準)の小計	約4,800㎡			
総面積(廊下等の共用部込み)	約7,300㎡			

【位置図】



※横浜市行政地図情報提供 i マッピーより

事業
スケジュール

R3～R5: 基本計画、基本設計、実施設計
R6～R12: 新築工事、既存校舎解体工事等
R12: 供用開始
※今後、変更になる可能性があります。

総事業費

約 44.1 億円(うち国費約 5.6 億円)
※R2 年度算出。今後の精査により、変更が生じる場合があります。
※内訳については四捨五入しており、合計金額と合致しないところがあります。

項目	金額(税込)	内訳
設計等委託費	約 2.6 億円	—
工事費	約 37.1 億円	新築工事費約 29.1 億円、既存校舎改修工事費約 0.6 億円、校庭整備工事費約 2.2 億円、仮設設置費約 5.2 億円
解体費	約 4.4 億円	—

※新築工事費・平米単価は 34.3 万円(税抜)で試算しました。(本市の H29 新築工事实績を基に、物価上昇率を見込み算出)

- ・校舎棟 34.3 万円(税抜)×約 7,325m²=約 25.1 億円(税抜)
- ・躯体かさ上げ費 6.86 万円(税抜)×約 1,907 m²=約 1.3 億円(税抜)

計 (約 25.1 億円+約 1.3 億円)×1.1=約 29.1 億円(税込)

事業の
必要性

① 必要性

本市では、学齢期人口の急増に対応し、昭和40年代から50年代にかけて学校施設を集中的に整備してきたため、現状では5割以上の学校が築後40年以上経過しています。

そのため、「横浜市立小・中学校施設の建替えに関する基本方針(平成29年5月策定)」及び「横浜市公共建築物の再編整備の方針(平成30年2月策定)」に基づき、教育委員会事務局内で開催された建替対象校選定会議において、吉原小学校を建替対象校として選定しました。

・事業費算出の根拠とした児童数・学級数推計値(一般学級のみ)(R2.4時点)

		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
吉原小	児童数	584	564	537	518	504	490	474
	学級数	18	18	18	18	18	18	17

(参考)

・直近の児童数・学級数推計値(一般学級のみ)(R3.4時点)

		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
吉原小	児童数	555	529	503	485	464	451	443
	学級数	19	18	18	17	17	16	16

学級数については、「公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律」の一部改正により、令和3年度から令和7年度までの間に、第2学年から第6学年まで段階的に35人とすることとなりました(第2学年までは実施済み)。

②上位計画における位置付け

(横浜市中期4か年計画2018～2021 政策26:子どもたちの豊かな学びを育むための魅力ある学校づくり 主な施策(事業)1:計画的な学校施設の建替え)

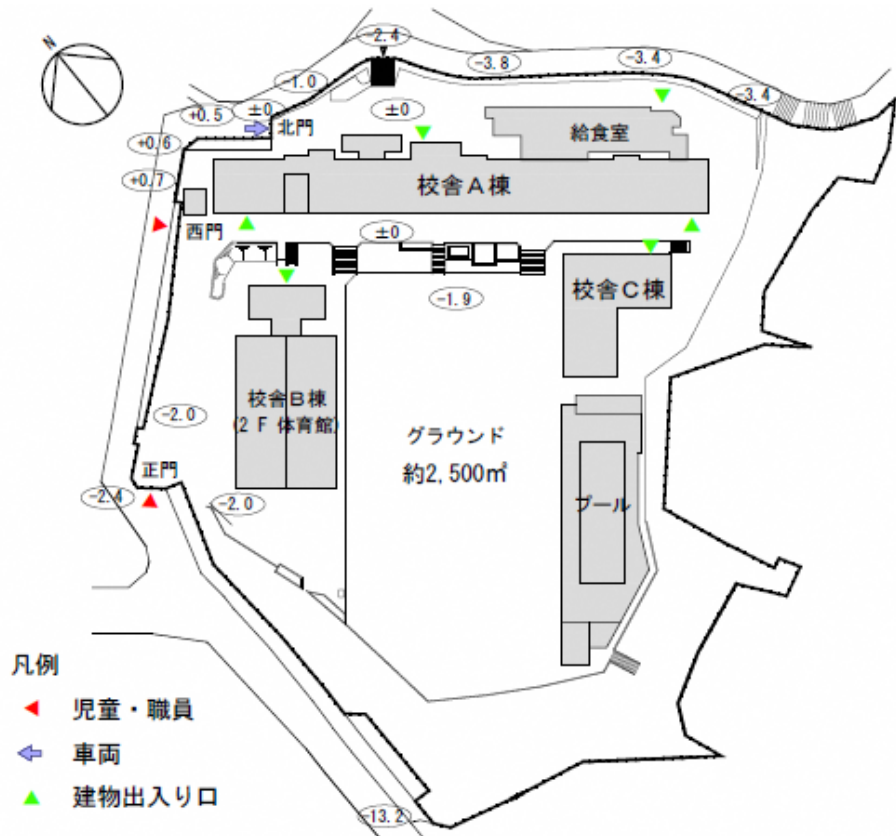
「横浜市立小・中学校施設の建替えに関する基本方針」に基づき、各対象校の建替えが最善の形で進められるよう、建替えの実施に必要な基本構想や設計を進め、工事に着手します。

(第3期横浜市教育振興基本計画2018-2022 柱9:安全・安心な環境 施策2:学校施設の計画的な建替えの推進 主な取組:①学校施設の計画的な建替え)

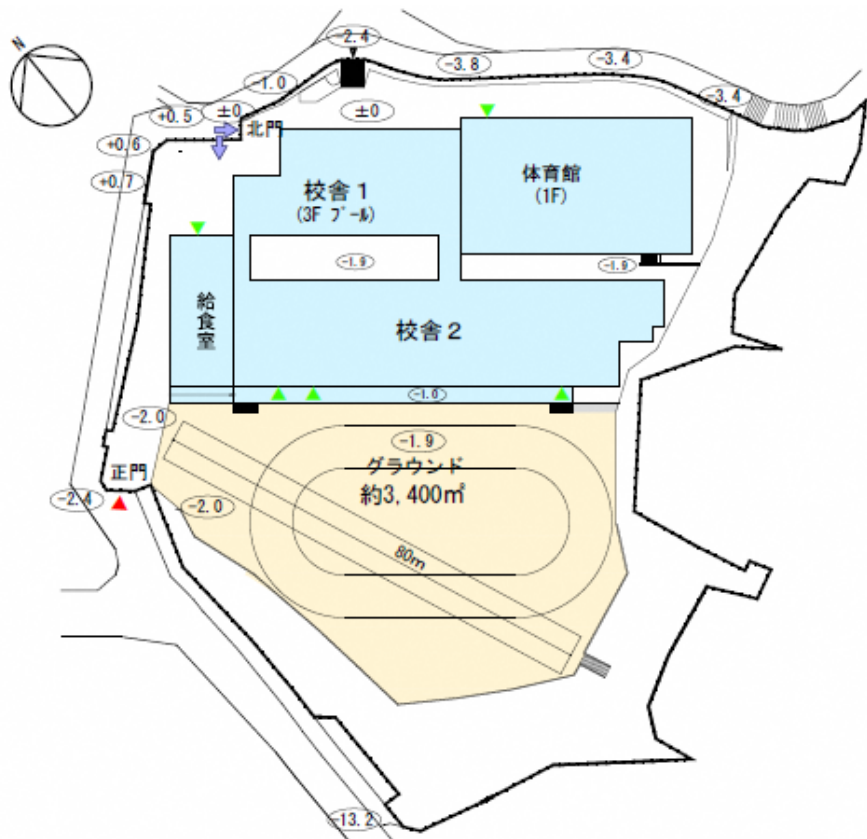
学校施設の建替えの実施に向けて、国費の導入に必要な調査等を実施します。また、新しい学習内容を柔軟に取り入れられるように配慮しながら、長期的な視野を持ち、学校関係者や地域の方の意見を踏まえて、建替えを

	<p>進めます。</p> <p>③適地性 吉原小学校以外の敷地で、小学校の整備に必要な面積を確保できる市有地が近隣にないため、現敷地での整備としました。</p>
事業の効果 (費用便益分析等)	<p>① 定性的事項について 本事業の実施により、適切な施設整備をすることとなり、児童の安全・安心及びより良い教育環境を確保することができます。</p> <p>② コスト縮減の取組みについて 仮設校舎を設置する場合でも、必要最低限の教室数を設置するプランを検討・提案し、学校関係者、地域の代表者による検討会でもその方向性について了解を得ています。</p> <p>③ 防災面について 災害時に利用可能な蓄電池などの一部設備を導入する予定です。</p>
環境への配慮	<p>① 「横浜市の公共建築物における環境配慮基準」に基づく整備の実施 低炭素社会に対応した環境への配慮や省エネルギー対策など、横浜市建築物環境配慮制度(CASBEE 横浜)が A ランク以上の水準になるよう定めています。</p> <p>② 木材の利用の促進 本市の公共建築物における木材利用の促進に関する方針を踏まえ、内装等の木質化等を進めます。</p>
地域の状況等	<p>学校関係者、地域の代表者による検討会を設置し、ご意見をいただきながら基本構想を策定しました。</p> <p>【検討会】 第1回:令和2年9月30日(水) 第2回:令和2年11月5日(木) 第3回:令和3年3月 ※書面開催</p>
事業手法	公共発注方式とします。
添付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・別紙1 校舎配置図 ・別紙2 ハザードマップ ・別紙3 現行の施設と新しい学校の整備水準の比較について (R2.4時点)
参考資料	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市立小・中学校施設の建替えに関する基本方針 (平成29年5月) <p>https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/kyoiku/sesaku/gakko/tatekae/hoshin.html</p>
担当部署	教育委員会事務局教育施設課 (TEL 045-671-3531)

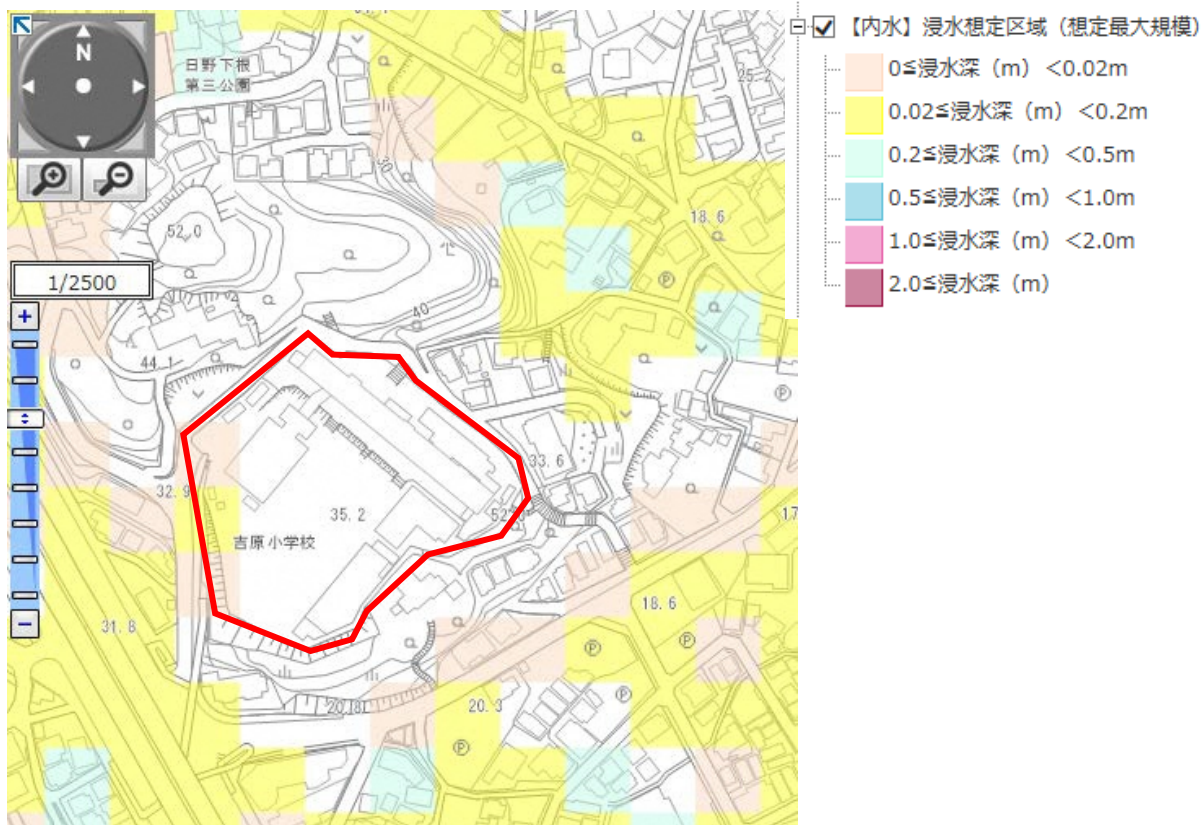
【吉原小学校既存校舎配置図】



【整備イメージ図】

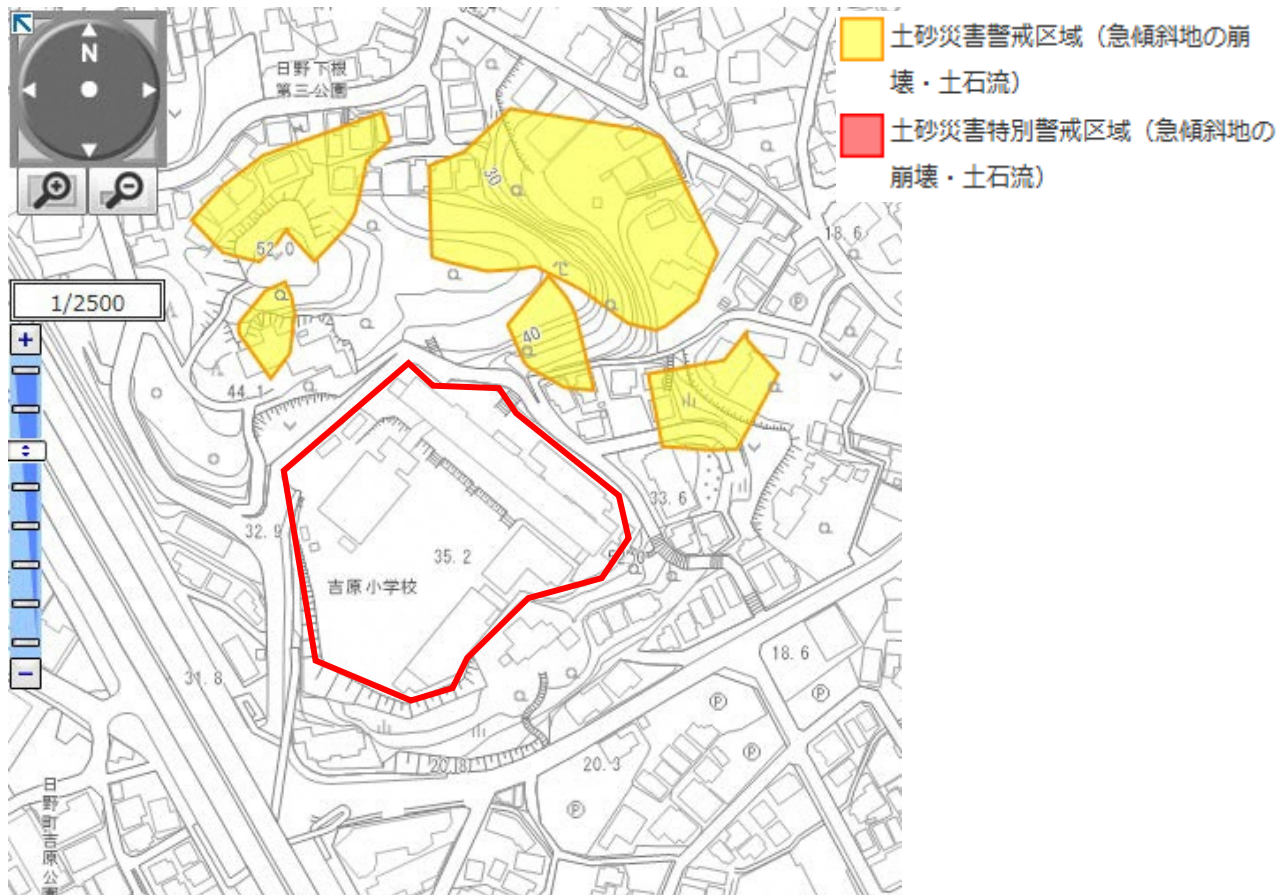


【内水ハザードマップ】



※横浜市行政地図提供システム わいわい防災マップ (内水) より

【土砂災害ハザードマップ】



※横浜市行政地図提供システム わいわい防災マップ (土砂災害) より

現行の施設と新しい学校の整備水準の比較について(R2.4時点)

種別	室名		整備水準(小学校17CR)		整備前		整備後(予定)		
			CR数 (64㎡/CR)	面積 (㎡)	CR数	面積 (㎡)	CR数 (64㎡/CR)	面積 (㎡)	
教室	1	普通教室	学級数	/	18.0	1141.0	17.0	1088.0	▲
	2	個別支援教室	学級数	/	4.0	265.3	4.0	256.0	
	3	特別支援教室	1.0	64.0	0.0	0.0	1.0	64.0	
特別教室	4	理科教室	2.0	128.0	2.0	126.0	2.0	128.0	
	5	音楽教室	2.0	128.0	2.0	130.5	2.0	128.0	
	6	家庭科教室	2.0	128.0	1.4	90.1	2.0	128.0	
	7	図画工作教室	2.0	128.0	1.0	67.8	2.0	128.0	
	8	図書室	2.0	128.0	1.0	65.3	2.0	128.0	
多目的室	9	教育相談室	0.5	32.0	0.5	31.5	0.5	32.0	
	10	多目的室(水廻り学習等)	1.5	96.0	0.0	0.0	1.5	96.0	
	11	多目的室(集会・発表等)	2.0	128.0	0.0	0.0	2.0	128.0	
	12	多目的室(少人数指導)	2.0	128.0	2.0	135.0	2.0	128.0	
管理諸室	13	多目的室(学校指定)	2.0	128.0	2.0	128.3	2.0	128.0	
	14	校長室	0.5	32.0	0.5	31.5	0.5	32.0	
	15	職員室	2.5	160.0	1.5	94.5	2.5	160.0	
	16	事務室	0.5	32.0	0.5	31.5	0.5	32.0	
	17	保健室	1.0	64.0	1.0	65.3	1.0	64.0	
	18	保健相談室・教材教具室①	0.5	32.0	0.0	0.0	0.5	32.0	
	19	放送・スタジオ室	0.5	32.0	0.5	31.5	0.5	32.0	
	20	会議室	1.0	64.0	0.0	0.0	1.0	64.0	
	21	印刷室	0.5	32.0	0.2	13.5	0.5	32.0	
	22	職員更衣室	0.5	32.0	0.9	56.2	0.5	32.0	▲
	23	技術員室・湯沸室	0.5	32.0	0.5	31.5	0.5	32.0	
	24	休養室	0.5	32.0	0.0	0.0	0.5	32.0	
	25	職員・来校者用玄関	0.5	32.0	0.2	13.5	0.5	32.0	
	その他	26	教材教具室②	1.5	96.0	0.0	0.0	1.5	96.0
27		変電室	1.0	64.0	別棟	/	1.0	64.0	
28		倉庫	0.5	32.0	0.0	0.0	0.5	32.0	
29		PTA会議室	0.5	32.0	1.0	67.8	0.5	32.0	▲
30		地域交流室	0.5	32.0	0.0	0.0	0.5	32.0	
その他	31	児童更衣室	1.0	64.0	0.0	0.0	1.0	64.0	
	32	昇降口	1.5	96.0	2.0	135.0	1.5	96.0	▲
	33	キッズ	2.0	128.0	1.0	65.7	2.0	128.0	
	34	給食室	/	350.0	/	261.6	/	350.0	
	35	EV	/	1基	/	1基	/	1基	
	36	屋内運動場(アリーナ面積)	/	720.0	/	400.8	/	720.0	
						約3,500		約4,800	
その他	37	プール	/	適宜	/	570.0	/	適宜	
	38	共用部(トイレ・廊下・階段等)	/	適宜	/	1900.0	/	適宜	


…整備前から増加

▲ …整備前から減少

(様式2)

公共事業事前評価調書

事業概要	事業名	【教育-5】学校施設の建替事業（今宿小学校）	
	場所 (所在地)	旭区今宿東町829番地	
	事業目的	今宿小学校は一部の校舎が古く、老朽化しているため、学校施設の建替を実施します。	
	事業内容	今宿小学校の老朽化対策として、現敷地内に新校舎棟を整備します。	
		【現在の施設状況】(令和2年4月時点)	
		建設年度	昭和39年(1964年)
		最古の棟の築年数	54.0年
		屋内運動場築年数	49年
		平均築年数	47.7年
		種別	
普通教室		18教室	
個別支援教室		5教室	
多目的室		1教室	
音楽室や理科室等の特別教室	5教室		
その他職員室等の管理諸室・体育施設等			
面積(整備水準)の小計	約3,700㎡		
総面積(廊下等の共用部込み)	約6,500㎡		
【新規整備内容(予定)】敷地面積:約12,363㎡			
種別		数量	
普通教室	19教室		
個別支援教室	5教室		
特別支援教室	1教室		
多目的室	4教室		
音楽室や理科室等の特別教室	6教室		
その他職員室等の管理諸室、体育施設等			
面積(整備水準)の小計	約4,600㎡		
総面積(廊下等の共用部込み)	約7,400㎡		
なお、体育館は、躯体の構造耐力や鉄筋状況などの調査の結果、現時点では建替が必要な状態ではなく、またプールは昭和44年建設ですが、校舎棟等の建設に影響がないため、いずれも本事業では存置し、適宜必要な改修等を別途行う予定です。			

	<p>【位置図】</p>  <p>※横浜市行政地図情報提供 i マッピーより</p>												
<p>事業 スケジュール</p>	<p>R3～R5:基本計画、基本設計、実施設計 R6～R9:新築工事、既存校舎解体工事等 R9:供用開始 ※今後、変更になる可能性があります。</p>												
<p>総事業費</p>	<p>約 33.6 億円(うち国費約 4.0 億円) ※R2 年度算出。今後の精査により、変更が生じる場合があります。 ※内訳については四捨五入しており、合計金額と合致しないところがあります。</p> <table border="1" data-bbox="528 1301 1414 1585"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>金額(税込)</th> <th>内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計等委託費</td> <td>約 2.6 億円</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>工事費</td> <td>約 27.3 億円</td> <td>新築工事費約 25.1 億円、校庭整備工事費約 2.2 億円</td> </tr> <tr> <td>解体費</td> <td>約 3.7 億円</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>※新築工事費・平米単価は 34.3 万円(税抜)で試算しました。(本市の H29 新築工事实績を基に、物価上昇率を見込み算出) ・校舎棟 34.3 万円(税抜)×約 6,638m²=約 22.8 億円(税抜) ・渡り廊下 15.0 万円(税抜)×約 60 m²=約 900 万円(税抜)</p> <p>計 (約 22.8 億円+約 900 万円)×1.1=約 25.1 億円(税込)</p>	項目	金額(税込)	内訳	設計等委託費	約 2.6 億円	—	工事費	約 27.3 億円	新築工事費約 25.1 億円、校庭整備工事費約 2.2 億円	解体費	約 3.7 億円	—
項目	金額(税込)	内訳											
設計等委託費	約 2.6 億円	—											
工事費	約 27.3 億円	新築工事費約 25.1 億円、校庭整備工事費約 2.2 億円											
解体費	約 3.7 億円	—											
<p>事業の 必要性</p>	<p>① 必要性 本市では、学齢期人口の急増に対応し、昭和 40 年代から 50 年代にかけて学校施設を集中的に整備してきたため、現状では5割以上の学校が築後</p>												

40年以上経過しています。

そのため、「横浜市立小・中学校施設の建替えに関する基本方針(平成29年5月策定)」及び「横浜市公共建築物の再編整備の方針(平成30年2月策定)」に基づき、教育委員会事務局内で開催された建替対象校選定会議において、今宿小学校を建替対象校として選定しました。

・事業費算出の根拠とした児童数・学級数推計値(一般学級のみ)(R2.4時点)

		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
今宿小	児童数	556	546	561	555	547	549	524
	学級数	18	18	19	19	19	19	19

(参考)

・児童数・学級数推計値(一般学級のみ)(R3.4時点)

		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
今宿小	児童数	562	583	575	569	571	544	534
	学級数	18	19	19	19	19	19	19

学級数については、「公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律」の一部改正により、令和3年度から令和7年度までの間に、第2学年から第6学年まで段階的に35人とすることとなりました(第2学年までは実施済み)。

②上位計画における位置付け

(横浜市中期4か年計画2018～2021 政策26:子どもたちの豊かな学びを育むための魅力ある学校づくり 主な施策(事業)1:計画的な学校施設の建替え)

「横浜市立小・中学校施設の建替えに関する基本方針」に基づき、各対象校の建替えが最善の形で進められるよう、建替えの実施に必要な基本構想や設計を進め、工事に着手します。

(第3期横浜市教育振興基本計画2018-2022 柱9:安全・安心な環境 施策2:学校施設の計画的な建替えの推進 主な取組:①学校施設の計画的な建替え)

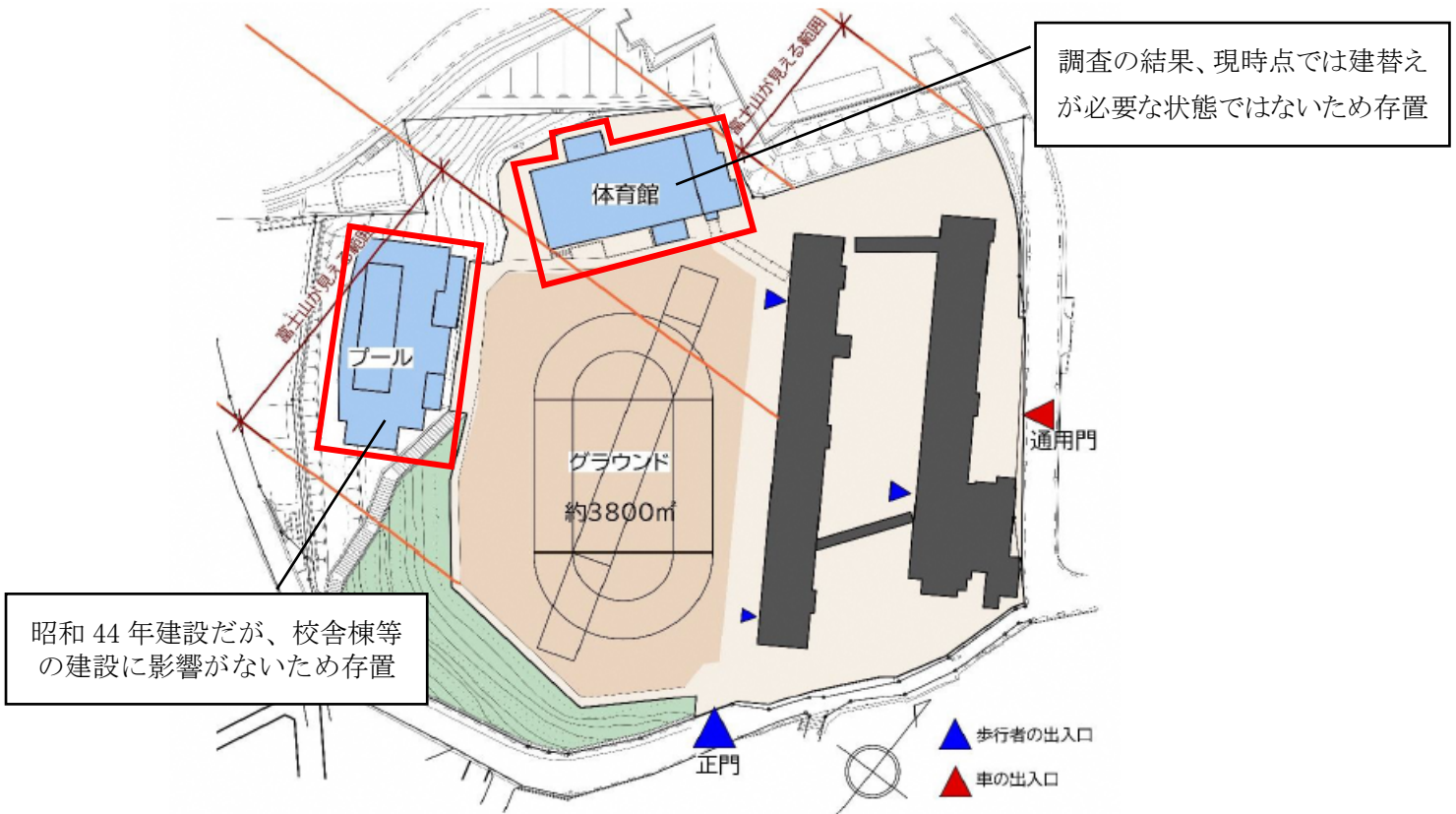
学校施設の建替えの実施に向けて、国費の導入に必要な調査等を実施します。また、新しい学習内容を柔軟に取り入れられるように配慮しながら、長期的な視野を持ち、学校関係者や地域の方の意見を踏まえて、建替えを進めます。

③適地性

今宿小学校以外の敷地で、小学校の整備に必要な面積を確保できる市有地が近隣にないため、現敷地での整備としました。

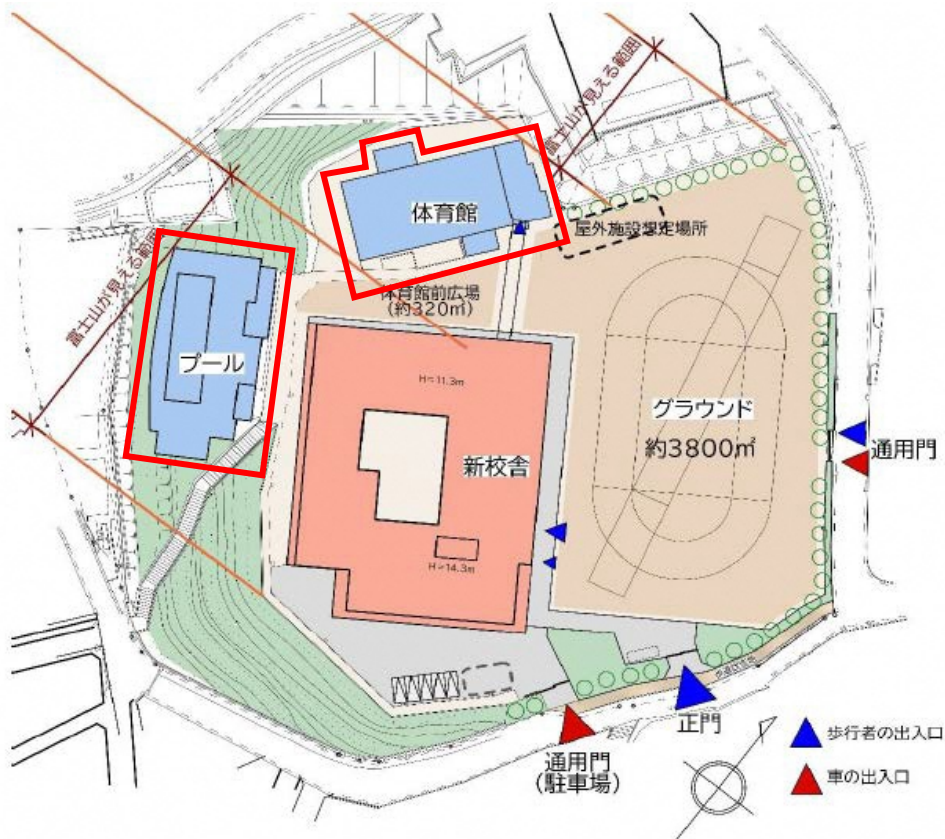
<p>事業の効果 (費用便益分析等)</p>	<p>① 定性的事項について 本事業の実施により、適切な施設整備をすることとなり、児童の安全・安心及びより良い教育環境を確保することができます。</p> <p>② コスト削減の取組みについて 仮設校舎を設置しないプランを検討・提案し、学校関係者、地域の代表者による検討会でもその方向性について了解を得ています。</p> <p>③ 防災面について 災害時に利用可能な蓄電池などの一部設備を導入する予定です。 浸水想定区域がかかる場合は、関係局と調整し、必要に応じて調整池等を整備します。</p>
<p>環境への配慮</p>	<p>① 「横浜市の公共建築物における環境配慮基準」に基づく整備の実施 低炭素社会に対応した環境への配慮や省エネルギー対策など、横浜市建築物環境配慮制度(CASBEE 横浜)が A ランク以上の水準になるよう定めています。</p> <p>② 木材の利用の促進 本市の公共建築物における木材利用の促進に関する方針を踏まえ、内装等の木質化等を進めます。</p>
<p>地域の状況等</p>	<p>学校関係者、地域の代表者による検討会を設置し、ご意見をいただきながら基本構想を策定しました。</p> <p>【検討会】 第1回:令和2年9月29日(火) 第2回:令和2年10月28日(水) 第3回:令和3年1月 ※書面開催</p>
<p>事業手法</p>	<p>公共発注方式とします。</p>
<p>添付資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・別紙1 校舎配置図 ・別紙2 ハザードマップ ・別紙3 現行の施設と新しい学校の整備水準の比較について (R2.4時点)
<p>参考資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市立小・中学校施設の建替えに関する基本方針 (平成29年5月) <p>https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/kyoiku/esaku/gakko/tatekae/hoshin.html</p>
<p>担当部署</p>	<p>教育委員会事務局教育施設課 (TEL 045-671-3531)</p>

【今宿小学校既存校舍配置図】



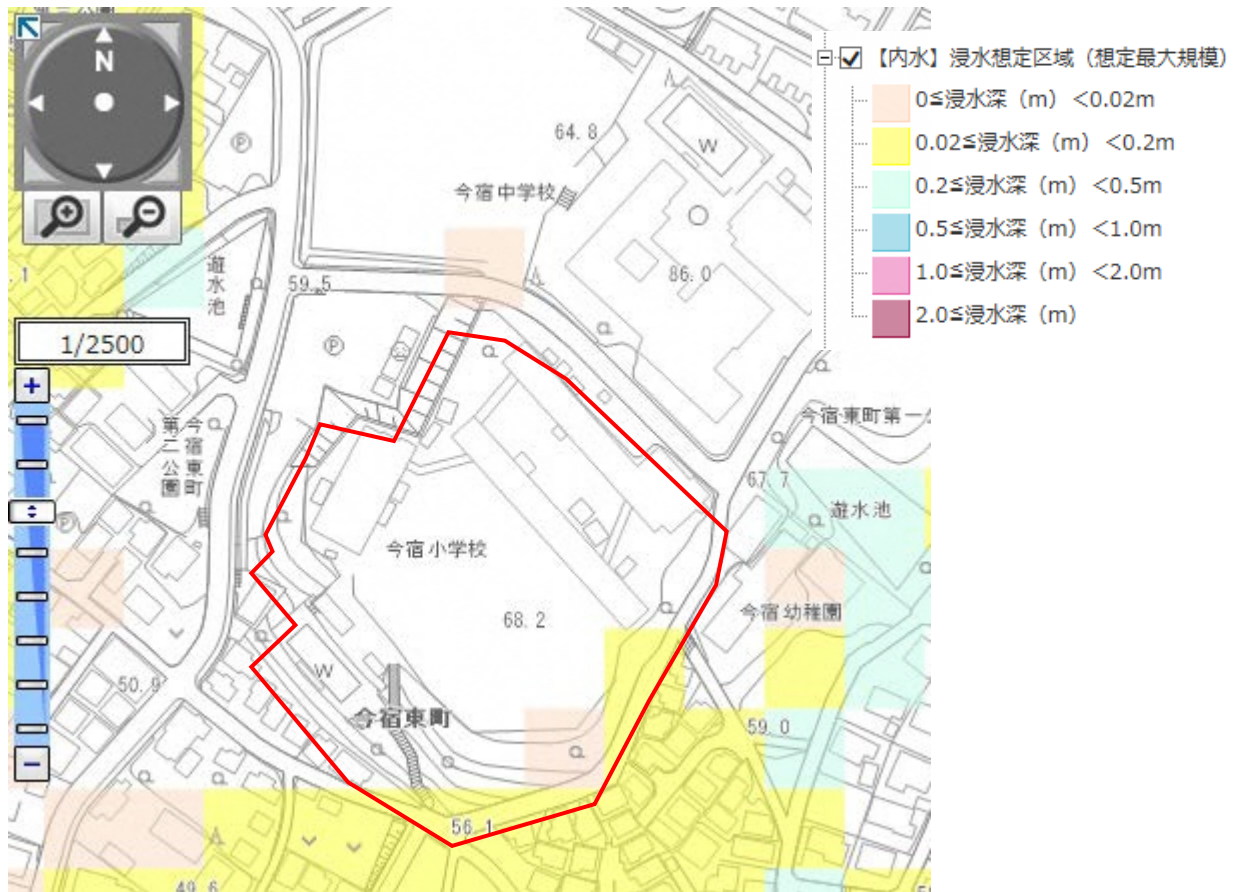
注記) 「富士山が見える範囲」は、グラウンドあるいは校舎1階から富士山を望める想定のエリアを示す

【整備イメージ図】

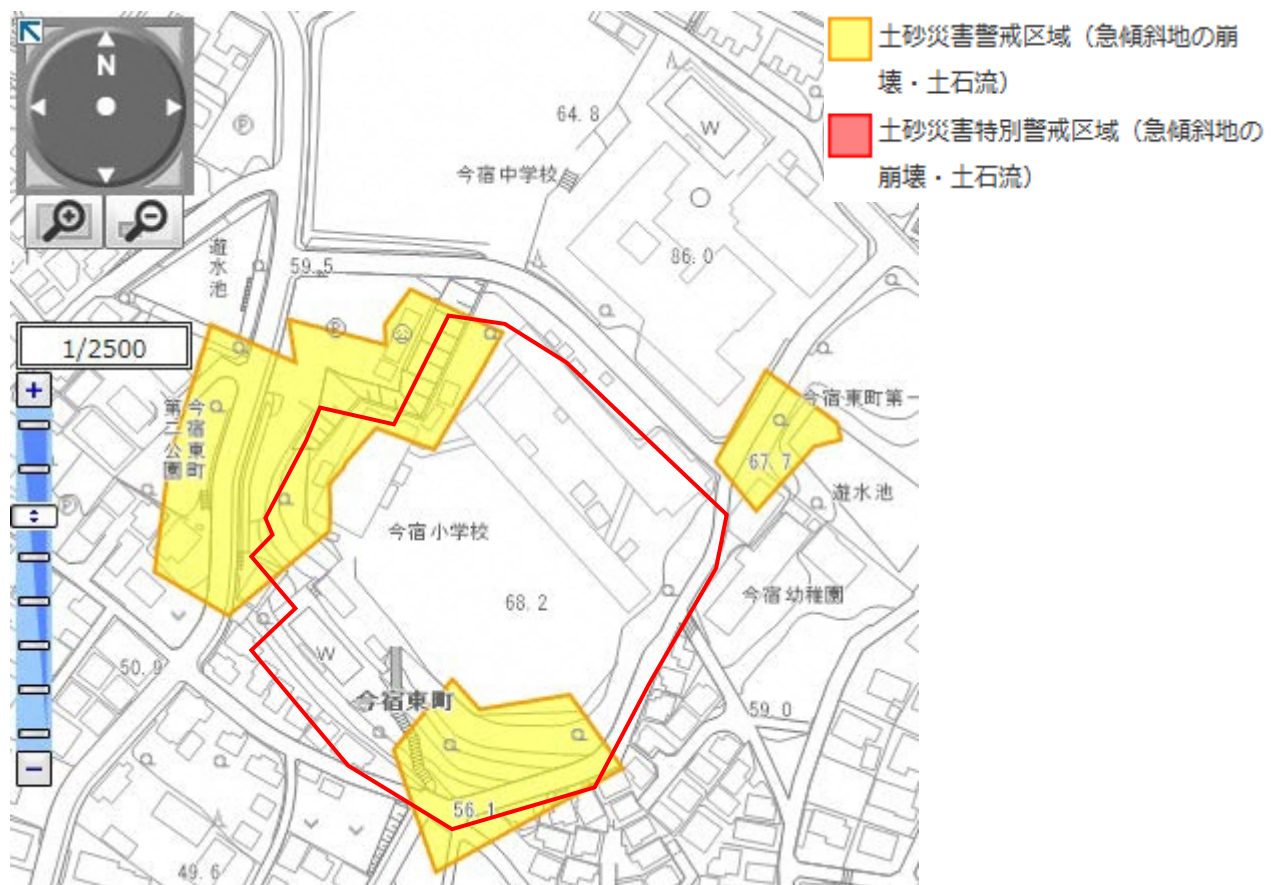


注記) 「富士山が見える範囲」は、グラウンドあるいは校舎1階から富士山を望める想定のエリアを示す

【内水ハザードマップ】



【土砂災害ハザードマップ】



※横浜市行政地図提供システム わいわい防災マップ (土砂災害) より

現行の施設と新しい学校の整備水準の比較について(R2.4時点)

種別	室名		整備水準(小学校19CR)		整備前		整備後(予定)	
			CR数 (64㎡/CR)	面積 (㎡)	CR数	面積 (㎡)	CR数 (64㎡/CR)	面積 (㎡)
教室	1	普通教室	学級数	/	18.0	1134.0	19.0	1216.0
	2	個別支援教室	学級数	/	5.0	318.5	5.0	320.0
	3	特別支援教室	1.0	64.0	0.0	0.0	1.0	64.0
特別教室	4	理科教室	2.0	128.0	2.0	126.0	2.0	128.0
	5	音楽教室	2.0	128.0	2.0	126.0	2.0	128.0
	6	家庭科教室	2.0	128.0	2.0	126.0	2.0	128.0
	7	図画工作教室	2.0	128.0	2.0	126.0	2.0	128.0
	8	図書室	2.0	128.0	2.0	126.0	2.0	128.0
	9	教育相談室	0.5	32.0	0.0	0.0	0.5	32.0
多目的室	10	多目的室(水廻り学習等)	1.5	96.0	0.0	0.0	1.5	96.0
	11	多目的室(集会・発表等)	2.0	128.0	2.0	126.0	2.0	128.0
	12	多目的室(少人数指導)	2.0	128.0	0.0	0.0	2.0	128.0
	13	多目的室(学校指定)	2.0	128.0	0.0	0.0	2.0	128.0
管理諸室	14	校長室	0.5	32.0	0.5	31.5	0.5	32.0
	15	職員室	2.5	160.0	2.0	126.0	2.5	160.0
	16	事務室	0.5	32.0	0.5	33.3	0.5	32.0
	17	保健室	1.0	64.0	1.0	63.0	1.0	64.0
	18	保健相談室・教材教具室①	0.5	32.0	0.5	31.5	0.5	32.0
	19	放送・スタジオ室	0.5	32.0	0.5	31.5	0.5	32.0
	20	会議室	1.0	64.0	0.5	31.5	1.0	64.0
	21	印刷室	0.5	32.0	0.1	2.3	0.5	32.0
	22	職員更衣室	0.5	32.0	0.6	40.3	0.5	32.0
	23	技術員室・湯沸室	0.5	32.0	0.5	31.5	0.5	32.0
	24	休養室	0.5	32.0	0.0	0.0	0.5	32.0
	25	職員・来校者用玄関	0.5	32.0	0.5	32.0	0.5	32.0
	26	教材教具室②	1.5	96.0	0.3	21.0	1.5	96.0
	27	変電室	1.0	64.0	別棟	/	1.0	64.0
	28	倉庫	0.5	32.0	0.0	0.0	0.5	32.0
	29	PTA会議室	0.5	32.0	0.3	21.0	0.5	32.0
30	地域交流室	0.5	32.0	0.0	0.0	0.5	32.0	
その他	31	児童更衣室	1.0	64.0	0.0	0.0	1.0	64.0
	32	昇降口	1.5	96.0	2.0	126.0	1.5	96.0
	33	キッズ	1.0	64.0	1.0	63.0	2.0	128.0
	34	給食室	/	350.0	/	335.0	/	350.0
	35	EV	/	1基	/	0基	/	1基
	36	屋内運動場(アリーナ面積)	/	720.0	/	400.0	/	400.0
					約3,700		約4,600	
その他	37	プール	/	適宜	/	699.0	/	699.0
	38	共用部(トイレ・廊下・階段等)	/	適宜	/	2100.0	/	適宜

- ・・・整備前から増加
- ▲・・・整備前から減少
- ・・・既存利用

(様式2)

公共事業事前評価調書

事業概要	事業名	【教育－6】学校施設の建替事業（つつじが丘小学校）	
	場所 (所在地)	青葉区つつじが丘34	
	事業目的	つつじが丘小学校は一部の校舎が古く、老朽化しているため、学校施設の建替えを実施します。	
	事業内容	つつじが丘小学校の老朽化対策として、現敷地内に新校舎棟を整備します。	
		【現在の施設状況】(令和2年4月時点)	
		建設年度	昭和42年(1967年)
		最古の棟の築年数	53.0年
		屋内運動場築年数	46年
		平均築年数	48.7年
		種別	
普通教室		16教室	
個別支援教室		2教室	
多目的室		2教室	
音楽室や理科室等の特別教室		5教室	
その他職員室等の管理諸室・体育施設等			
面積(整備水準)の小計		約3,600㎡	
総面積(廊下等の共用部込み)		約6,100㎡	
【新規整備内容(予定)】敷地面積:約13,719㎡			
種別		数量	
普通教室		12教室	
個別支援教室		2教室	
特別支援教室	1教室		
多目的室	3教室		
音楽室や理科室等の特別教室	6教室		
その他職員室等の管理諸室、体育施設等			
面積(整備水準)の小計	約4,000㎡		
総面積(廊下等の共用部込み)	約5,900㎡		
なお、体育館及び一部の教室については、躯体の構造耐力や鉄筋状況などの調査の結果、現時点では建替えが必要な状態ではないことから、本事業では存置することとし、適宜必要な改修等を別途行う予定です。			

	<p>【位置図】</p>  <p>※横浜市行政地図情報提供 i マッピーより</p>												
<p>事業 スケジュール</p>	<p>R3～R5:基本計画、基本設計、実施設計 R6～R10:新築工事、既存校舎解体工事等 R10:供用開始 ※今後、変更になる可能性があります。</p>												
<p>総事業費</p>	<p>約 26.1 億円(うち国費約 3.4 億円) ※R2 年度算出。今後の精査により、変更が生じる場合があります。 ※内訳については四捨五入しており、合計金額と合致しないところがあります。</p> <table border="1" data-bbox="528 1279 1414 1568"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>金額(税込)</th> <th>内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計等委託費</td> <td>約 2.6 億円</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>工事費</td> <td>約 20.2 億円</td> <td>新築工事費約 18.0 億円、校庭整備工事費約 2.2 億円</td> </tr> <tr> <td>解体費</td> <td>約 3.3 億円</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>※新築工事費・平米単価は 34.3 万円(税抜)で試算しました。(本市の H29 新築工事实績を基に、物価上昇率を見込み算出)</p> <p>・校舎棟 34.3 万円(税抜)×約 4,760m²×1.1=約 18.0 億円(税抜)</p>	項目	金額(税込)	内訳	設計等委託費	約 2.6 億円	—	工事費	約 20.2 億円	新築工事費約 18.0 億円、校庭整備工事費約 2.2 億円	解体費	約 3.3 億円	—
項目	金額(税込)	内訳											
設計等委託費	約 2.6 億円	—											
工事費	約 20.2 億円	新築工事費約 18.0 億円、校庭整備工事費約 2.2 億円											
解体費	約 3.3 億円	—											
<p>事業の 必要性</p>	<p>① 必要性 本市では、学齢期人口の急増に対応し、昭和 40 年代から 50 年代にかけて学校施設を集中的に整備してきたため、現状では5割以上の学校が築後 40 年以上経過しています。 そのため、「横浜市立小・中学校施設の建替えに関する基本方針(平成</p>												

29年5月策定)」及び「横浜市公共建築物の再編整備の方針(平成30年2月策定)」に基づき、教育委員会事務局内で開催された建替対象校選定会議において、つつじが丘小学校を建替対象校として選定しました。

・事業費算出の根拠とした児童数・学級数推計値(一般学級のみ)(R2.4時点)

		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
つつじが丘小	児童数	454	440	416	418	400	374	385
	学級数	16	15	14	14	13	12	12

(参考)

・児童数・学級数推計値(一般学級のみ)(R3.4時点)

		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
つつじが丘小	児童数	441	422	427	410	391	398	384
	学級数	15	14	15	14	14	14	13

学級数については、「公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律」の一部改正により、令和3年度から令和7年度までの間に、第2学年から第6学年まで段階的に35人とすることとなりました(第2学年までは実施済み)。

②上位計画における位置付け

(横浜市中期4か年計画2018～2021 政策26:子どもたちの豊かな学びを育むための魅力ある学校づくり 主な施策(事業)1:計画的な学校施設の建替え)

「横浜市立小・中学校施設の建替えに関する基本方針」に基づき、各対象校の建替えが最善の形で進められるよう、建替えの実施に必要な基本構想や設計を進め、工事に着手します。

(第3期横浜市教育振興基本計画2018-2022 柱9:安全・安心な環境 施策2:学校施設の計画的な建替えの推進 主な取組:①学校施設の計画的な建替え)

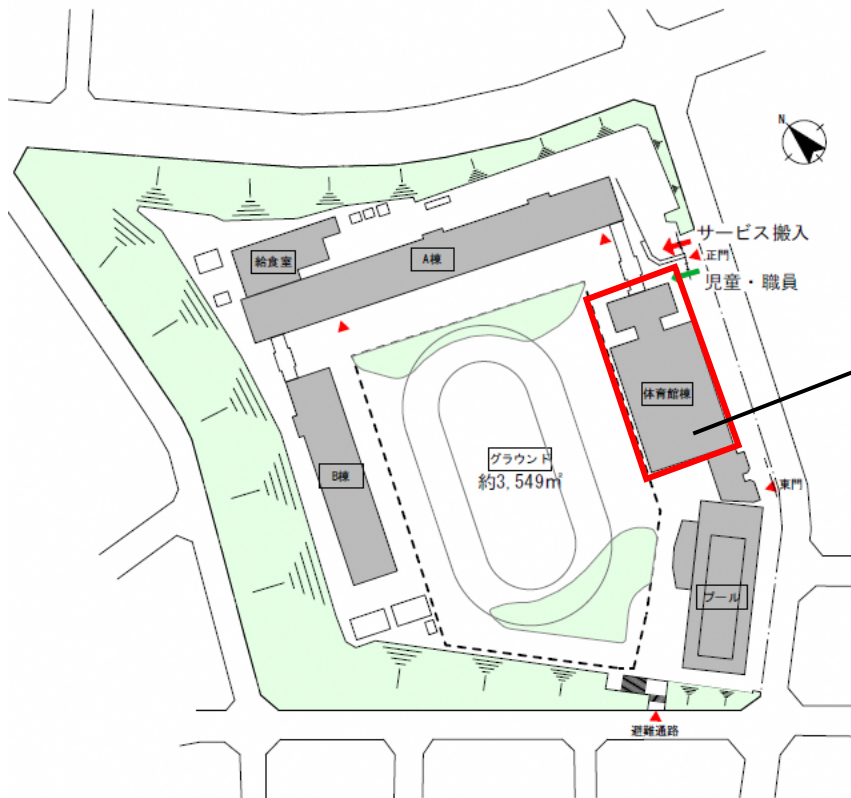
学校施設の建替えの実施に向けて、国費の導入に必要な調査等を実施します。また、新しい学習内容を柔軟に取り入れられるように配慮しながら、長期的な視野を持ち、学校関係者や地域の方の意見を踏まえて、建替えを進めます。

③適地性

つつじが丘小学校以外の敷地で、小学校の整備に必要な面積を確保できる市有地が近隣にないため、現敷地での整備としました。

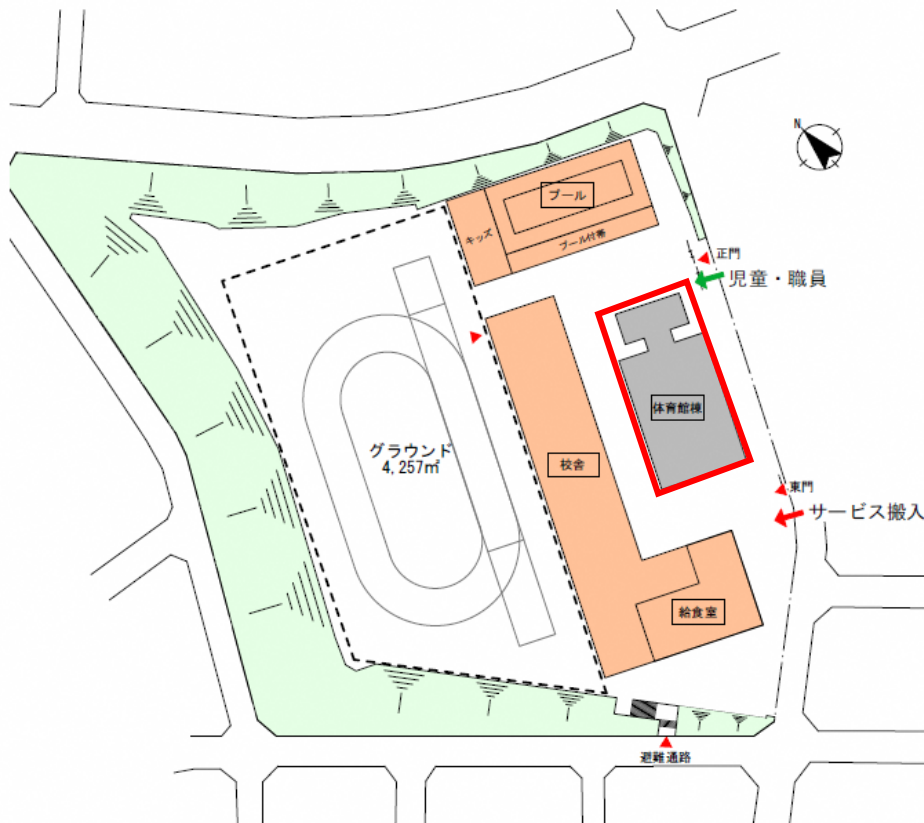
<p>事業の効果 (費用便益分析等)</p>	<p>① 定性的事項について 本事業の実施により、適切な施設整備をすることとなり、児童の安全・安心及びより良い教育環境を確保することができます。</p> <p>② コスト削減の取組みについて 仮設校舎を設置しないプランを検討・提案し、学校関係者、地域の代表者による検討会でもその方向性について了解を得ています。</p> <p>③ 防災面について 災害時に利用可能な蓄電池などの一部設備を導入する予定です。 浸水想定区域がかかる場合は、関係局と調整し、必要に応じて調整池等を整備します。</p>
<p>環境への配慮</p>	<p>① 「横浜市の公共建築物における環境配慮基準」に基づく整備の実施 低炭素社会に対応した環境への配慮や省エネルギー対策など、横浜市建築物環境配慮制度(CASBEE 横浜)が A ランク以上の水準になるよう定めています。</p> <p>② 木材の利用の促進 本市の公共建築物における木材利用の促進に関する方針を踏まえ、内装等の木質化等を進めます。</p>
<p>地域の状況等</p>	<p>学校関係者、地域の代表者による検討会を設置し、ご意見をいただきながら基本構想を策定しました。</p> <p>【検討会】 第1回:令和2年9月 24 日(木) 第2回:令和2年10 月 30 日(金) 第3回:令和2年12 月 21 日(月)</p>
<p>事業手法</p>	<p>公共発注方式とします。</p>
<p>添付資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・別紙1 校舎配置図 ・別紙2 ハザードマップ ・別紙3 現行の施設と新しい学校の整備水準の比較について (R2.4 時点)
<p>参考資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市立小・中学校施設の建替えに関する基本方針 (平成 29 年 5 月) <p>https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/kyoiku/esaku/gakko/tatekae/hoshin.html</p>
<p>担当部署</p>	<p>教育委員会事務局教育施設課 (Tel 045-671-3531)</p>

【つつじが丘小学校既存校舎配置図】

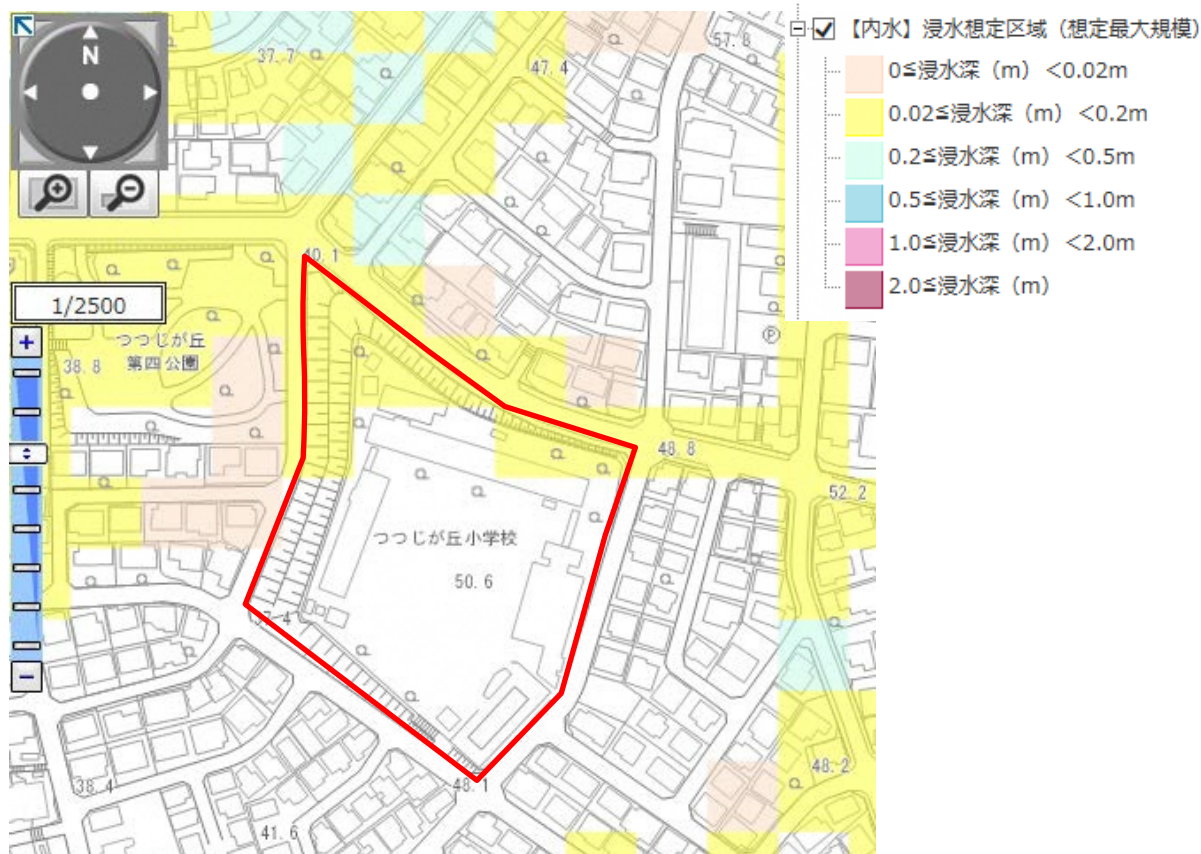


調査の結果、現時点では建替え
が必要な状態ではないため存置

【整備イメージ図】



【内水ハザードマップ】



※横浜市行政地図提供システム わいわい防災マップ (内水) より

【土砂災害ハザードマップ】



※横浜市行政地図提供システム わいわい防災マップ (土砂災害) より

現行の施設と新しい学校の整備水準の比較について(R2.4時点)

種別	室名		整備水準(小学校12CR)		整備前		整備後(予定)		
			CR数 (64㎡/CR)	面積 (㎡)	CR数 (63㎡/CR)	面積 (㎡)	CR数 (64㎡/CR)	面積 (㎡)	
教室	1	普通教室	学級数		16.0	1008.0	12.0	768.0	▲
	2	個別支援教室	学級数		2.0	126.0	2.0	128.0	
	3	特別支援教室	1.0	64.0	0.0	0.0	1.0	64.0	
特別教室	4	理科教室	2.0	128.0	2.0	126.0	2.0	128.0	▲
	5	音楽教室	2.0	128.0	3.0	189.0	2.0	128.0	▲
	6	家庭科教室	2.0	128.0	2.0	126.0	2.0	126.0	○
	7	図画工作教室	2.0	128.0	2.0	126.0	2.0	126.0	○
	8	図書室	2.0	128.0	2.0	113.6	2.0	128.0	
	9	教育相談室・耐火書庫	0.5	32.0	0.0	0.0	0.5	32.0	
多目的室	10	多目的室(水廻り学習等)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	11	多目的室(集会・発表等)	2.0	128.0	0.0	0.0	2.0	128.0	
	12	多目的室(少人数指導)	2.0	128.0	1.0	63.0	2.0	128.0	
	13	多目的室(学校指定)	2.0	128.0	2.0	126.0	2.0	128.0	
管理諸室	14	校長室	0.5	32.0	0.5	31.5	0.5	32.0	
	15	職員室	2.0	128.0	2.0	126.0	2.0	128.0	
	16	事務室	0.5	32.0	0.5	31.5	0.5	32.0	
	17	保健室	1.0	64.0	1.0	63.0	1.0	64.0	
	18	保健相談室・教材教具室①	0.5	32.0	0.0	0.0	0.5	32.0	
	19	放送・スタジオ室	0.5	32.0	1.0	63.0	0.5	32.0	▲
	20	会議室	1.0	64.0	0.0	0.0	1.0	64.0	
	21	印刷室	0.5	32.0	0.3	18.9	0.5	32.0	
	22	職員更衣室	0.5	32.0	1.2	75.6	0.5	32.0	▲
	23	技術員室・湯沸室	0.5	32.0	0.5	31.5	0.5	32.0	▲
	24	休養室	0.5	32.0	0.0	0.0	0.5	32.0	
	25	職員・来校者用玄関	0.5	32.0	0.5	31.5	0.5	32.0	
	26	教材教具室②	1.5	96.0	0.0	0.0	1.5	96.0	
	27	変電室	1.0	64.0	別棟		1.0	64.0	
	28	倉庫	0.5	32.0	別棟		0.5	32.0	
	29	PTA会議室	0.5	32.0	1.0	63.0	0.5	32.0	▲
30	地域交流室	0.5	32.0	2.5	157.5	2.5	157.5	○	
その他	31	児童更衣室	1.0	64.0	0.0	0.0	1.0	64.0	
	32	昇降口	1.0	64.0	2.0	126.0	1.0	64.0	▲
	33	キッズ	適宜	適宜	1.0	63.0	2.0	128.0	
	34	給食室		350.0		240.0		350.0	
	35	EV		1基		0基		1基	
	36	屋内運動場(アリーナ面積)		560.0		405.0		405.0	○
						約3,600		約4,000	
その他	37	プール		適宜		564.0		適宜	
	38	共用部(トイレ・廊下・階段等)		適宜		2000.0		適宜	

※面積はおおよそになります。

- … 整備前から増加
- ▲ … 整備前から減少
- … 既存利用